

最高裁人任二A第000401号

(人い-03)

平成24年3月27日

一部改正 平成25年3月19日付け最高裁人任二A第360号

一部改正 平成26年3月6日付け最高裁人任二第325号

高等裁判所長官 殿

地方裁判所長 殿

家庭裁判所長 殿

最高裁判所事務総局人事局長 安 浪 亮 介

裁判所職員採用試験の筆記試験の実施要領書について

(通達)

標記の実施要領書について、平成24年3月27日付け最高裁人任二A第000400号人事局長通達「裁判所職員採用試験の実施事務について」（以下「実施通達」という。）に基づき、下記のとおり定めましたので、これによってください。

記

第1 第1次試験日（実施通達記第3の8関係）

1 AX, BX及びC

別紙様式第1のとおり

2 AY及びBY

別紙様式第2のとおり

3 D及びE

別紙様式第3のとおり

第2 第2次試験政策論文試験及び専門試験（AX，BX及びCの憲法を除く。）

（実施通達記第4の2関係）

1 AX及びBX

別紙様式第4のとおり

2 AY及びBY

別紙様式第5のとおり

付 記

1 実施

この通達は、平成24年4月1日から実施する。

2 通達の廃止

平成16年3月24日付け最高裁人任A第5号人事局長通達「Z-R A，Y，Z-J及びQの第1次試験日並びにZ-R A及びZ-Jの専門試験の実施要領書について」は、平成24年3月31日限り、廃止する。

付 記（平成25. 3. 19最高裁人任二A第360号）

この通達は、平成25年4月1日から実施する。

付 記（平成26. 3. 6最高裁人任二第325号）

この通達は、平成26年4月1日から実施する。

(別紙様式第1)

AX, BX及びC第1次試験日実施要領書  
(第2次試験専門試験(憲法)及び論文試験を含む。)

最高裁判所事務総局人事局

この実施要領書は、AX、BX及びCの第1次試験並びに第2次試験専門試験（憲法）及び論文試験を全国的に統一して公正かつ平等に実施するために定められたものである。

試験の実施に当たっては、全てこの要領書に定めるところによるものとする。

平成△年△月△日（△）

A X - □（特例希望者を除く。）第1次試験日時間割

事 項		時 刻	試験の内容
1 時 限	受付開始	8時30分	基礎能力試験（多肢選択式）
	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	8時50分	
	試験問題等の配布	9時00分	
	○試験開始	9時10分	
	試験終了15分前の予告	11時20分	
	○試験終了	11時35分	
（昼 食）			
2 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	13時10分	専門試験（多肢選択式）
	試験問題等の配布	13時15分	
	○試験開始	13時25分	
	試験終了15分前の予告	14時40分	
	○試験終了	14時55分	
（休 憩）			
3 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	15時15分	憲法（記述式）
	試験問題等の配布	15時20分	
	○試験開始	15時30分	
	試験終了15分前の予告	16時15分	
	○試験終了	16時30分	

（注）

- 1 平成△年△月△日（△）には、試験日を記入する。
- 2 □には、実施年度の試験の略称の数字を記入する。
- 3 ○は、振鈴等による時刻の合図を示す。

平成△年△月△日（△）

B X - □（特例希望者を除く。）第1次試験日時間割

事 項		時 刻	試験の内容
1 時 限	受付開始	8時30分	基礎能力試験（多肢選択式）
	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	8時50分	
	試験問題等の配布	9時00分	
	○試験開始	9時10分	
	試験終了15分前の予告	11時55分	
	○試験終了	12時10分	
(昼 食)			
2 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	13時10分	専門試験（多肢選択式）
	試験問題等の配布	13時15分	
	○試験開始	13時25分	
	試験終了15分前の予告	14時40分	
	○試験終了	14時55分	
	(休 憩)		
3 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	15時15分	憲法（記述式）
	試験問題等の配布	15時20分	
	○試験開始	15時30分	
	試験終了15分前の予告	16時15分	
	○試験終了	16時30分	

(注)

- 1 平成△年△月△日（△）には，試験日を記入する。
- 2 □には，実施年度の試験の略称の数字を記入する。
- 3 ○は，振鈴等による時刻の合図を示す。

平成△年△月△日（△）

A X-□， B X-□（いずれも特例希望者に限る。）及びC-□第1次試験日時間割

事 項		時 刻	試験の内容
1 時 限	受付開始	8時30分	基礎能力試験（多肢選択式）
	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	8時50分	
	試験問題等の配布	9時00分	
	○試験開始	9時10分	
	試験終了15分前の予告	11時55分	
	○試験終了	12時10分	
（昼 食）			
2 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	13時10分	専門試験（多肢選択式）
	試験問題等の配布	13時15分	
	○試験開始	13時25分	
	試験終了15分前の予告	14時40分	
	○試験終了	14時55分	
（休 憩）			
3 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	15時15分	憲法（記述式）
	試験問題等の配布	15時20分	
	○試験開始	15時30分	
	試験終了15分前の予告	16時15分	
	○試験終了	16時30分	
（休 憩）			
4 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	16時50分	論文試験（小論文）
	試験問題等の配布	16時55分	
	○試験開始	17時05分	
	試験終了15分前の予告	17時50分	
	○試験終了	18時05分	

（注）

- 1 平成△年△月△日（△）には，試験日を記入する。
- 2 □には，実施年度の試験の略称の数字を記入する。
- 3 ○は，振鈴等による時刻の合図を示す。

## 1 受付係の事務

- (1) 受付開始の前に、事務室係から受験者名簿及び再発行用の第1次試験受験票用紙を受領する。
- (2) 受付は、午前8時30分から行うが、実施機関の実情に応じて適宜早めることは差し支えない。
- (3) 出頭した受験者の第1次試験受験票を確認し、受験心得「受験者の皆さんへ」を交付した上、その者に所定の試験室に入るよう指示する。受験心得「受験者の皆さんへ」については、受付において受験者に交付する方法のほか、実施機関の実情に応じて適宜の方法により配布することは差し支えない。ただし、受付において交付しない場合は、1時限の受験者着席の時刻までに配布を完了する。
- (4) 第1次試験受験票等を持参しなかった者については、次のとおり取り扱う。

### ア 第1次試験受験票及び本人確認用の写真を持参しなかった場合

- (ア) 1時限の試験開始後30分を経過するまでに本人確認用の写真を持参しなかった場合は受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。
- (イ) 1時限の試験開始後30分を経過するまでに本人確認用の写真を持参した場合は、受験者名簿により氏名及び受験番号を確認した上、再発行用の第1次試験受験票用紙に所要事項を記入し、所定の位置に本人確認用の写真を貼り付けて作成した第1次試験受験票を交付し、所定の試験室に入るよう指示する。

### イ 第1次試験受験票を持参せず、本人確認用の写真を持参した場合

受験者名簿により氏名及び受験番号を確認した上、再発行用の第1次試験受験票用紙に所要事項を記入し、所定の位置に本人確認用の写真を貼り付けて作成した第1次試験受験票を交付し、所定の試験室に入るよう指示する。

### ウ 第1次試験受験票を持参し、本人確認用の写真を持参しなかった場合

- (ア) 1時限の試験開始後30分を経過するまでに本人確認用の写真を持参し



なかった場合は受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。

- (イ) 1時限の試験開始後30分を経過するまでに本人確認用の写真を持参した場合は、第1次試験受験票の所定の位置に本人確認用の写真を貼り付け、所定の試験室に入るよう指示する。
- (5) 受付時に、裁判所職員採用試験オンライン申込システムによる受験申込みをした者のうち第1次試験受験票の作成作業をしていない者については、のり、はさみ及び事務用パンチを貸与した上、所定の作成作業をさせ、所定の試験室に入るよう指示する。
- (6) 1時限の試験開始後30分以内に到着した者については、(3)から(5)までに定める手続により受け付け、予備室に入るよう指示し、直ちにその者の氏名及び受験番号を所定の試験室の試験官及び事務室係に連絡する。
- (7) 1時限の試験開始後30分を過ぎて到着した者については、受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。
- (8) 受付時における受験者からの質問に対する応答及び外来者の応接に当たるほか、試験開始後は、試験室の周囲が騒がしくならないように注意する。
- 新聞記者等が試験場内に入ることを希望したときは、首席試験官の指示により、試験に影響のない限り、許可して差し支えない。

## 2 時計係の事務

- (1) 正確な時計を用意し、午前8時30分までに、他の係員に各自の時計を調整させる。
- (2) 時間割に定められた時刻に振鈴、ベル、口頭等で合図する。
- (3) 試験時間中は、事務室に待機し、適宜事務室と各試験室との連絡に当たる。

## 3 試験官及び試験室係の事務

- (1) 試験官は、試験室の正面中央に位置し、できるだけその位置を離れない。
- (2) 試験の開始及び終了の宣言は、合図（振鈴等）がありしだい直ちに行う（振鈴等の鳴り始めた時でよい。）。

- (3) 受験者の質問に対しては、試験官が応答する。回答は、全受験者に聞こえるようにする。

なお、試験問題の内容に関する質問については、次のとおり回答する。

「問題の内容にわたる事項ですから、お答えできません。問題に記載してある字句のままよく考えて解答してください。」

- (4) 試験官は、単独で決定できないことが起きたときは、係員を通じて、速やかに首席試験官の指示を受ける。このとき、試験官は、できるだけ試験室を離れないようにし、やむを得ず試験官が試験室を離れる場合であっても、必ず係員のうち少なくとも1人が試験室に残るようにする。

- (5) 試験官は、身代わり受験等の不正行為をした者を発見したときは、直ちに首席試験官に報告し、首席試験官において不正行為と認められたときは、不正行為者に対して失格である旨を告げて試験席から退出させる。退出させる際には、第1次試験受験票の控え、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案及び草稿用紙（配布する場合に限る。）を回収し、第1次試験受験票の控え及び答案に「不正」と朱書する。また、不正行為者を試験席から退出させた後、試験場の外へ退出させるのは、1時限の試験開始後30分を経過した後とする。

なお、2時限目以降に不正行為が発見されたときは、必要に応じて前の時限の試験問題の回収に努める。

首席試験官は、不正行為の概要を速やかに高等裁判所を通じて人事局任用課試験第二係まで連絡するとともに、可能な限り不正行為者から事情を聴くなどして、不正行為に関する事実関係の把握に努める。

- (6) 試験官は、棄権者及び答案作成完了者の退室を認める。ただし、1時限の試験開始後30分間及び各時限終了前の15分間については退室を認めない。

なお、退室させる場合は、係員に次の作業をさせる。

ア 退出させる前に、棄権者及び答案作成完了者の答案、試験問題及び正誤表を回収させる。その際、試験問題の切取り等がないか十分に確認させる。棄

権者の答案には「キケン」と記載させる。

イ 当該時限終了後に、答案作成完了者に対し、回収した試験問題及び正誤表を交付させる。ただし、A X（特例希望者を除く。）の1時限の試験問題及び正誤表については、A X（特例希望者に限る。）、B X及びCの1時限終了後に交付させる。

(7) 1時限の試験開始後30分以内に到着した者については、人事局任用課試験第二係から別途指示する場合を除き、試験時間の延長を認めない。

なお、延長の必要性について疑義がある場合は、人事局任用課試験第二係に照会する。

(8) 試験官は、2時限、3時限及び4時限の試験開始時刻に遅れた者については、受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。

(9) 係員は、試験中随時受験者の間を回り、不正行為があるかどうかを監視する。

(10) 受験者から時刻を聞かれたときは、その都度教えて差し支えない。

(11) 受験者をトイレ等の理由で一時途中退室させる場合、係員は、受験者が自席を離れる際に、受験者が通信機器を携帯していないことを確認する。

(12) その他各時限ごとの事務は、別紙のとおりとする。

#### 4 事務室係の事務

(1) 受付開始の10分前までに、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案用紙、受験者名簿、再発行用の第1次試験受験票用紙、草稿用紙、通信機器を入れる封筒、実施報告書用紙及び事務用品を事務室に搬入する。

(2) 試験時刻等の告知にベルを使用する試験場は、故障に備えて、あらかじめ他の方法を考慮する。

(3) 受付開始の前に、受験者名簿及び再発行用の第1次試験受験票用紙を受付係に交付する。

(4) 各時限の試験室係員の入室前に、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案用紙、草稿用紙（3時限及び4時限に限る。）、通信機器を入れ

る封筒，第1次試験受験票（1時限を除く。），実施報告書用紙及び事務用品を試験官に交付する。その際，事務室で待機する首席試験官は，正誤表の有無を試験官に告げる。

(5) 試験終了後，各試験室からの答案等について，実施報告書の記入事項と一致しているかどうか及び答案の所定の欄に所要事項が漏れなく記入されているかどうかを厳重に点検の上，受領する。

(6) 次の表の「品目」に掲げるものを同表の「整理方法」に定める方法により，全科目の終了後それぞれ速やかに整理する。

品 目		整 理 方 法
有効答案		試験の種類別，科目別，受験番号順
無効答案	不正行為	同上
	棄権	同上
第1次試験受験票		有効及び無効の別，試験の種類別，受験番号順
未使用試験問題		適宜
未使用答案用紙		同上
実施報告書		試験の種類別，科目別

(別紙)

1 時限 第1次試験基礎能力試験 (多肢選択式)

時刻	事務内容	発言内容
8:30 まで	1 時計係と時計の調整をする。 2 各担当試験室の整備をする。	(発言は、試験官が行う。)
8:50 まで	事務室で試験問題、正誤表(配布する場合に限る。)、答案用紙、通信機器を入れる封筒、実施報告書用紙及び事務用品を受領し、試験室に入る。 受領の際、首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。	
8:50	1 受験者の入室完了を確認する。 2 受付手続の確認 3 第1次試験受験票及び「受験者の皆さんへ」の所持の有無の確認 4 机に表示してある受験番号の確認及び第1次試験受験票に関する注意 5 氏名、住所等の変更申出の指示 6 通信機器を利用した不正行為防止のための注意 (注) ①～⑤の順に、受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。	受付を済ませていない人はいませんか。いましたら手を挙げてください。 受験票及び「受験者の皆さんへ」を持っていない人はいませんか。いましたら手を挙げてください。 自分の受験番号と着席した机に表示してある受験番号とが一致しているかどうかを確認してください。受験票は、後ほど回収しますので、写真の貼ってある面を表にし、机に表示してある受験番号の横に置いてください。郵便でお送りした受験票については、受験票の控えと切り離しておいてください。 受験申込みの時から氏名、住所等に変更のある人は、受験票の写真の下の余白に変更後の内容を赤のペン又はボールペンで記載してください。赤のペン又はボールペンを持っていない方は手を挙げてください。 ① 携帯電話等の通信機器を持っている人は、全ての通信機器を机の上に出してください。 ② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。 ③ 電源が切れていることの確認ができた人

	<p>7 9時40分までの間に、第1次試験受験票の回収及び同受験票の写真による本人確認を行う。</p> <p>(注1) 誤って受験票の控えを回収しないよう注意する。</p> <p>(注2) 回収及び本人確認は試験開始後に始めてもよい。</p> <p>8 第1次試験に関する注意の告知</p>	<p>は、全ての通信機器をかばん等の中にしまい、かばん等は、必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。</p> <p>(挙手した者がいた場合、封筒を交付し、以下のとおり発言する。</p> <p>今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し、通信機器を入れた上で、係員に預けてください。預かった通信機器はこの時間の試験終了後に返却しますので、係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。)</p> <p>⑤ 試験時間中、通信機器を、衣類のポケットなど、かばん等の外に携帯していた場合は、その使用の有無にかかわらず、不正行為とみなし、失格者として扱いますので、注意してください。</p> <p>ただいまから、本日の第1次試験についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>多肢選択式試験で使用する筆記用具は、HBの鉛筆又はシャープペンシルです。机の上には、受験票、受験票の控え、HBの鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム及び時計のほかは、置いてはいけません。配布した「受験者の皆さんへ」と題する書面もかばん等にしまってください。下敷きの使用は認めません。また、計算機能が付いている時計の使用は認めませんので、そのような時計をお持ちの方は、かばん等にしまってください。HBの</p>
--	---	--

	<p>(1) 試験中の行動についての注意</p> <p>(2) 棄権及び退室の際の注意</p> <p>9 試験時間の確認</p> <p>10 次の試験に関する注意</p> <p>9:00 1 答案用紙、試験問題及び正誤表（配布する場合に限る。）の配布</p> <p>(1) 試験問題の包みは、配布直前に開封する。</p> <p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p>	<p>筆記用具を持ち合わせていない人は、ここで係員に申し出てください。</p> <p>試験中の喫煙、飲食は認めません。試験中に他の受験者と話をしたり、こちらから配布したもの以外のものを見たり、その他不正な行為をしたりした人は、失格者として退室してもらいますので、絶対にしないでください。</p> <p>試験中疑問のある人又はトイレに行きたい人は、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。</p> <p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き、黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また、試験終了時刻前に退室したい人も、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、1時限の試験開始から30分間及び各時限の試験終了前の15分間は、退室を認めません。</p> <p>【AXの受験者で特例を希望しない者に対し】</p> <p>1時限の基礎能力試験の試験時間は、9時10分から11時35分までの2時間25分です。</p> <p>【AXの受験者で特例を希望する者並びにBX及びCの受験者に対し】</p> <p>1時限の基礎能力試験の試験時間は、9時10分から12時10分までの3時間です。</p> <p>次の試験は、13時25分から開始します。13時10分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、受験できません。</p> <p>これから答案用紙1枚、試験問題集1部（、正誤表1部）を配りますが、試験問題集（及び正誤表）は、開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>【AXの受験者で特例を希望しない者に対し】</p>
--	---	--





	<p>3 解答問題数に関する注意 【AXの受験者で特例を希望しない者に対して発言】</p> <p>4 受験上の注意事項についての質疑応答 (注)遅くとも試験開始の2分前には、この発言をする。</p>	<p>ください。一般職試験受験者は、「C」をマークしてください。 マークする際は、受験票の控えの記載をよく確認してください。 【AXの受験者で特例を希望しない者に対し】</p> <p>この試験問題集には、問題1から40までが掲載されていますが、総合職試験の院卒者試験受験者で特例を希望していない方は、問題1から30まで解答してください。</p> <p>試験問題集の表紙の注意事項を声を出さずに読んでください。注意事項について疑問のある人は、手を挙げて質問してください。 読み終わりましたら、開始の合図があるまでの間、答案用紙に記入した受験番号やマークの位置などが間違っていないか、よく点検してください。特に、受験番号のマークについて、「1」と「0」の位置を取り違えていないか、よく確認してください。</p>
9:10	<p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁、乱丁等のある試験問題の交換</p> <p>3 係員は、欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p>	<p>始めてください。 (試験問題の内容について、一部訂正がありますので、正誤表を参照してください。) もし、落丁、乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら、交換しますから、黙ったまま手を挙げてください。</p>
11:55 【AXの受験者で特例を希望しない者は11:20】	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま、試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は、答案の提出を認めません。</p>
12:10	<p>1 試験終了の宣言</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて、試験</p>

<p>【AXの受験者で特例を希望しない者は11:35】</p>	<p>2 答案等の回収に当たっての注意</p> <p>3 係員は、答案等の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案等を回収する。</p> <p>4 試験官は、回収した答案等を点検し、回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 2時限に行われる試験についての注意及び退室の指示</p>	<p>問題集を閉じてください。</p> <p>もう一度受験番号、試験地、氏名に記入漏れや、マークの位置に間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には、これから係員が答案を回収しますので、その際に申し出た上、訂正してください。</p> <p>【AXの受験者で特例を希望しない者に対し】</p> <p>では、答案、試験問題集（、正誤表）を係員が回収しますから、着席したまま静かにお待ちください。試験問題集（及び正誤表）は、●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので、注意してください。</p> <p>（注）●は12時10分以降の適宜の時刻を、■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>【AXの受験者で特例を希望する者並びにBX及びCの受験者に対し】</p> <p>では、答案を係員が回収しますから、着席したまま静かにお待ちください。</p> <p>次の試験は、13時10分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、試験を受けられません。これで基礎能力試験を終わります。</p> <p>【AXの受験者で特例を希望しない者に対し】</p> <p>12時10分までは、他の受験者の試験中ですので、試験室周辺では静かにしてください。</p> <p>（予備室）</p>
---------------------------------	---	---

	<p>6 試験官は、提出された答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	<p>また、午後の試験は、この試験室ではなく、所定の試験室で受験してください。</p>
--	---	---

2 時限 第 1 次試験専門試験（多肢選択式）

時 刻	事 務 内 容	発 言 内 容
13:10 まで	<p>事務室で試験問題，正誤表（配布する場合に限る。），答案用紙，通信機器を入れる封筒，第 1 次試験受験票，実施報告書用紙及び事務用品を受領し，試験室に入る。</p> <p>受領の際，首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。</p>	
13:10	<p>1 受験者の入室完了を確認する。</p> <p>2 通信機器を利用した不正行為防止のための注意                      （注）①～⑤の順に，受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。</p> <p>3 本人確認                      第 1 次試験受験票の写真による本</p>	<p>① 携帯電話等の通信機器を持っている人は，全ての通信機器を机の上に出してください。</p> <p>② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。</p> <p>③ 電源が切れていることの確認ができた人は，全ての通信機器をかばん等の中にしまい，かばん等は，必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。                      （挙手した者がいた場合，封筒を交付し，以下のとおり発言する。                      今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し，通信機器を入れた上で，係員に預けてください。預かった通信機器はこの時限の試験終了後に返却しますので，係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。）</p> <p>⑤ 試験時間中，通信機器を，衣類のポケットなど，かばん等の外に携帯していた場合は，その使用の有無にかかわらず，不正行為とみなし，失格者として扱いますので，注意してください。</p>

<p>13:15</p>	<p>人確認を行う。  (注) 確認は試験開始後に始めてもよい。</p> <p>4 試験に関する注意の告知</p> <p>5 棄権及び退室の際の注意</p> <p>6 試験時間の確認</p> <p>7 次の試験に関する注意</p> <p>1 答案用紙、試験問題及び正誤表（配布する場合に限る。）の配布  (1) 試験問題の包みは、配布直前に開封する。  (2) 正誤表は裏返しに配布する。  (3) 欠席者の席には配布しない。  (4) 配布終了後、直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p>	<p>ただいまから、専門試験についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>この試験で使用する筆記用具は、HBの鉛筆又はシャープペンシルです。机の上には、受験票の控え、HBの鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム及び時計のほかは、置いてはいけません。HBの筆記用具を持ち合わせていない人は、ここで係員に申し出てください。</p> <p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き、黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また、試験終了時刻前に退室したい人も、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験終了前の15分間は、退室を認めません。</p> <p>専門試験の試験時間は、13時25分から14時55分までの1時間30分です。</p> <p>次の試験は、15時30分から開始します。15時15分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、受験できません。</p> <p>これから答案用紙1枚、試験問題集1部（、正誤表1部）を配りますが、試験問題集（及び正誤表）は、開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>試験問題集（及び正誤表）は、試験終了後、持ち帰ってください。</p> <p>ただし、途中退室する場合は、係員が答案とともに試験問題集（及び正誤表）を一旦回収し、●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので、注意してください。</p> <p>なお、棄権により途中退出する場合は、試</p>
--------------	--	---



	<p>、この発言をする。</p>	<p>読み終わりましたら、開始の合図があるまでの間、答案用紙に記入した受験番号やマークの位置などが間違っていないか、よく点検してください。特に、受験番号のマークについて、「1」と「0」の位置を取り違えていないか、よく確認してください。</p>
13:25	<p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁、乱丁等のある試験問題の交換</p> <p>3 係員は、欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p> <p>4 途中退室は、写真による本人確認終了後に許可する。</p>	<p>始めてください。</p> <p>(試験問題の内容について、一部訂正がありますので、正誤表を参照してください。)</p> <p>もし、落丁、乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら、交換しますから、黙ったまま手を挙げてください。</p>
14:40	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま、試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は、答案の提出を認めません。</p>
14:55	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意</p> <p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収する。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて、試験問題集を閉じてください。</p> <p>もう一度受験番号、試験地、氏名、選択科目に記入漏れや、マークの位置に間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には、これから係員が答案を回収しますので、その際に申し出た上、訂正してください。</p> <p>では、答案を係員が回収しますから、着席したまま静かにお待ちください。</p>

	<p>認する。</p> <p>5 3時限に行われる試験についての注意及び退室等の指示</p> <p>6 試験官は、提出された答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	<p>次の試験は、15時15分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、試験を受けられません。これで専門試験を終わります。</p>
--	--	---



3 時限 第 2 次試験専門試験（憲法）（記述式）

時 刻	事 務 内 容	発 言 内 容
15:15 まで	<p>事務室で試験問題，正誤表（配布する場合に限る。），答案用紙，草稿用紙，通信機器を入れる封筒，第 1 次試験受験票，実施報告書用紙及び事務用品を受領し，試験室に入る。</p> <p>受領の際，首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。</p>	
15:15	<p>1 受験者の入室完了を確認する。</p> <p>2 通信機器を利用した不正行為防止のための注意            （注）①～⑤の順に，受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。</p> <p>3 本人確認            第 1 次試験受験票の写真による本</p>	<p>① 携帯電話等の通信機器を持っている人は，全ての通信機器を机の上に出してください。</p> <p>② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。</p> <p>③ 電源が切れていることの確認ができた人は，全ての通信機器をかばん等の中にしまい，かばん等は，必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。            （挙手した者がいた場合，封筒を交付し，以下のとおり発言する。            今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し，通信機器を入れた上で，係員に預けてください。預かった通信機器はこの時限の試験終了後に返却しますので，係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。）</p> <p>⑤ 試験時間中，通信機器を，衣類のポケットなど，かばん等の外に携帯していた場合は，その使用の有無にかかわらず，不正行為とみなし，失格者として扱いますので，注意してください。</p>



<p>15:20</p>	<p>1 答案用紙，試験問題及び正誤表（配布する場合に限る。）の配布</p> <p>(1) 試験問題の包みは，配布直前に開封する。</p> <p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p> <p>(3) 欠席者の席には配布しない。</p> <p>(4) 配布終了後，直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p> <p>2 受験科目名，試験地，受験番号及び氏名の記入の指示</p> <p>3 受験上の注意事項についての質疑応答</p> <p>(注) 遅くとも試験開始の2分前には</p>	<p>並びにCの受験者に対し】</p> <p>総合職試験受験者で特例を希望する人及び一般職試験受験者には，次の試験を17時05分から開始します。16時50分に着席の合図をしますから，遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると，受験できません。</p> <p>これから答案用紙1枚，試験問題集1部（，正誤表1部）を配りますが，試験問題集（及び正誤表）は，開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>試験問題集（及び正誤表）は，試験終了後，持ち帰ってください。</p> <p>ただし，途中退室する場合は，係員が答案とともに試験問題集（及び正誤表）を一旦回収し，●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので，注意してください。</p> <p>なお，棄権により途中退出する場合は，試験問題集（及び正誤表）の持ち帰りは認めません。</p> <p>(注) ●は16時30分以降の適宜の時刻を，■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>それでは，試験問題集の記入例を参考に，答案用紙に「受験科目」，「試験地」，「受験番号」及び「氏名」を記入してください。「試験名」欄には何も記入しないでください。また，試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>なお，答案用紙が不足したときは，手を挙げて係員に申し出てください。また，草稿には，試験問題集の余白を利用してください。草稿のための用紙が必要になったときは，手を挙げて係員に申し出てください。</p> <p>試験問題集の表紙の注意事項を声を出さずに読んでください。注意事項について疑問のある人は，手を挙げて質問してください。</p>
--------------	---	--

15:30	<p>、この発言をする。</p> <p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁、乱丁等のある試験問題の交換</p> <p>3 係員は、欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p> <p>4 途中退室は、写真による本人確認終了後に許可する。</p>	<p>読み終わりましたら、開始の合図があるまでの間、答案用紙に記入した受験番号などが間違っていないか、よく点検してください。</p> <p>始めてください。</p> <p>(試験問題の内容について、一部訂正がありますので、正誤表を参照してください。)</p> <p>もし、落丁、乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら、交換しますから、黙ったまま手を挙げてください。</p>
16:15	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま、試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は、答案の提出を認めません。</p>
16:30	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意</p> <p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて、試験問題集を閉じてください。</p> <p>もう一度受験科目、試験地、受験番号、氏名に記入漏れや、間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には、これから係員が答案を回収しますので、その際に申し出た上、訂正してください。</p> <p>では、答案を係員が回収しますから、着席したまま静かにお待ちください。</p> <p>なお、試験問題集(、正誤表)及び草稿用紙は、持ち帰ってください。</p> <p>(注) 追加で答案用紙を配布したときは、これに続けて次のことを告げる。</p> <p>「追加で答案用紙を使用したときは、回収の際、係員に申し出てください。」</p>

	<p>する。追加で答案用紙を使用した者の答案は、ステープラーで左側の上部及び中央部の2箇所をとじた上、右側の上部に付箋を貼る。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 退室等の指示又は4時限に行われる試験についての注意及び退室等の指示</p> <p>6 試験官は、提出された答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	<p>【AX及びBXの受験者で特例を希望しない者に対し】</p> <p>総合職試験受験者で特例を希望しない人は、これで本日の試験を終わります。お疲れ様でした。</p> <p>【AX及びBXの受験者で特例を希望する者並びにCの受験者に対し】</p> <p>総合職試験受験者で特例を希望する人及び一般職試験受験者には、16時50分に次の試験の着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、試験を受けられません。これで専門試験（憲法）の試験を終わります。</p>
--	---	---

4時限 第2次試験論文試験【AX及びBXの受験者で特例を希望しない者を除く。】

時刻	事務内容	発言内容
16:50 まで	<p>事務室で試験問題，正誤表（配布する場合に限る。），答案用紙，草稿用紙，通信機器を入れる封筒，第1次試験受験票，実施報告書用紙及び事務用品を受領し，試験室に入る。</p> <p>受領の際，首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。</p>	
16:50	<p>1 受験者の入室完了を確認する。</p> <p>2 通信機器を利用した不正行為防止のための注意                      （注）①～⑤の順に，受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。</p> <p>3 本人確認                      第1次試験受験票の写真による本</p>	<p>① 携帯電話等の通信機器を持っている人は，全ての通信機器を机の上に出してください。</p> <p>② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。</p> <p>③ 電源が切れていることの確認ができた人は，全ての通信機器をかばん等の中にしまい，かばん等は，必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。                      （挙手した者がいた場合，封筒を交付し，以下のとおり発言する。                      今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し，通信機器を入れた上で，係員に預けてください。預かった通信機器はこの時限の試験終了後に返却しますので，係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。）</p> <p>⑤ 試験時間中，通信機器を，衣類のポケットなど，かばん等の外に携帯していた場合は，その使用の有無にかかわらず，不正行為とみなし，失格者として扱いますので，注意してください。</p>

16:55	<p>人確認を行う。  (注) 確認は試験開始後に始めてもよい。</p>	
	<p>4 試験に関する注意の告知</p>	<p>ただいまから、論文試験についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>この試験では、鉛筆書きは認めません。机の上には、受験票の控え、黒のペン又はボールペン及び時計のほかは、置いてはいけません。また、下敷きの使用は認めません。</p> <p>なお、筆記用具については、消しゴムなどでインクを容易に消すことができるものの使用は認めませんので、この試験で使用できる筆記用具を持ち合わせていない人は、ここで係員に申し出てください。</p>
	<p>5 棄権及び退室の際の注意</p>	<p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き、黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また、試験終了時刻前に退室したい人も、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験終了前の15分間は、退室を認めません。</p>
	<p>6 試験時間の確認</p>	<p>4時限の論文試験の試験時間は、17時05分から18時05分までの1時間です。</p>
	<p>7 本日の試験終了の説明</p>	<p>この試験で本日の試験は終わりますから、試験終了後、忘れ物のないようお帰りください。</p> <p>第1次試験の合格発表日は、◎月◎日(◎)です。合格発表に関しては、試験開始前に配布した「受験者の皆さんへ」という書面に記載してありますので、後で参照してください。</p> <p>(注) ◎は第1次試験合格者発表日を記入する。</p>
	<p>1 答案用紙、試験問題及び正誤表(配布する場合に限る。)の配布</p>	<p>これから答案用紙1枚、試験問題集1部(正誤表1部)を配りますが、試験問題集(及び正誤表)は、開始の合図があるまで開いてはいけません。</p>
	<p>(1) 試験問題の包みは、配布直前に開封する。</p>	

	<p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p> <p>(3) 欠席者の席には配布しない。</p> <p>(4) 配布終了後、直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p> <p>2 受験科目名，試験地，受験番号及び氏名の記入の指示</p> <p>3 受験上の注意事項についての質疑応答</p> <p>(注) 遅くとも試験開始の2分前には，この発言をする。</p> <p>17:05</p> <p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁，乱丁等のある試験問題の交換</p> <p>3 係員は，欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p>	<p>試験問題集（及び正誤表）は，試験終了後，持ち帰ってください。</p> <p>ただし，途中退室する場合は，係員が答案とともに試験問題集（及び正誤表）を一旦回収し，●時●分に■で交付します。この時刻に遅れると交付することができませんので，注意してください。</p> <p>なお，棄権により途中退出する場合は，試験問題集（及び正誤表）の持ち帰りは認めません。</p> <p>(注) ●は18時05分以降の適宜の時刻を，■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>それでは，試験問題集の記入例を参考に，答案用紙に「受験科目」，「試験地」，「受験番号」及び「氏名」を記入してください。「試験名」欄には何も記入しないでください。また，試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>なお，答案用紙が不足したときは，手を挙げて係員に申し出てください。また，草稿には，試験問題集の余白を利用してください。草稿のための用紙が必要になったときは，手を挙げて係員に申し出てください。</p> <p>試験問題集の表紙の注意事項を声を出さずに読んでください。注意事項について疑問のある人は，手を挙げて質問してください。</p> <p>読み終わりましたら，開始の合図があるまでの間，答案用紙に記入した受験番号などが間違っていないか，よく点検してください。</p> <p>始めてください。</p> <p>(試験問題の内容について，一部訂正がありますので，正誤表を参照してください。)</p> <p>もし，落丁，乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら，交換しますから，黙ったまま手を挙げてください。</p>
--	---	---



17:50	<p>4 途中退室は、写真による本人確認終了後に許可する。</p> <p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま、試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は、答案の提出を認めません。</p>
18:05	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意</p> <p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収する。追加で答案用紙を使用した者の答案は、ステープラーで左側の上部及び中央部の2箇所をとじた上、右側の上部に付箋を貼る。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 退室等の指示</p> <p>6 試験官は、提出された答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて、試験問題集を閉じてください。</p> <p>もう一度受験科目、試験地、受験番号、氏名に記入漏れや、間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には、これから係員が答案を回収しますので、その際に申し出た上、訂正してください。</p> <p>では、答案を係員が回収しますから、着席したまま静かにお待ちください。</p> <p>なお、試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙は、持ち帰ってください。</p> <p>（注）追加で答案用紙を配布したときは、これに続けて次のことを告げる。</p> <p>「追加で答案用紙を使用したときは、回収の際、係員に申し出てください。」</p> <p>これで本日の試験を終わります。お疲れ様でした。</p>

	<p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	
--	--	--

(別紙様式第2)

AY及びBY第1次試験実施要領書

最高裁判所事務総局人事局

この実施要領書は、AY及びBYの第1次試験を全国的に統一して公正かつ平等に実施するために定められたものである。

試験の実施に当たっては、全てこの要領書に定めるところによるものとする。

平成△年△月△日 (△)

AY-□第1次試験時間割

事 項		時 刻	試験の内容
1 時 限	受付開始	8時30分	基礎能力試験 (多肢選択式)
	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	8時50分	
	試験問題等の配布	9時00分	
	○試験開始	9時10分	
	試験終了15分前の予告	11時20分	
	○試験終了	11時35分	
(昼 食)			
2 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	13時10分	専門試験 (記述式)
	試験問題等の配布	13時15分	
	○試験開始	13時25分	
	試験終了15分前の予告	15時40分	
	○試験終了	15時55分	

(注)

- 1 平成△年△月△日 (△) には, 試験日を記入する。
- 2 □には, 実施年度の試験の略称の数字を記入する。
- 3 ○は, 振鈴等による時刻の合図を示す。

平成△年△月△日 (△)

BY-□第1次試験時間割

事 項		時 刻	試験の内容
1 時 限	受付開始	8時30分	基礎能力試験 (多肢選択式)
	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	8時50分	
	試験問題等の配布	9時00分	
	○試験開始	9時10分	
	試験終了15分前の予告	11時55分	
	○試験終了	12時10分	
(昼 食)			
2 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	13時10分	専門試験 (記述式)
	試験問題等の配布	13時15分	
	○試験開始	13時25分	
	試験終了15分前の予告	15時40分	
	○試験終了	15時55分	

(注)

- 1 平成△年△月△日 (△) には, 試験日を記入する。
- 2 □には, 実施年度の試験の略称の数字を記入する。
- 3 ○は, 振鈴等による時刻の合図を示す。

## 1 受付係の事務

- (1) 受付開始の前に、事務室係から受験者名簿及び再発行用の第1次試験受験票用紙を受領する。
- (2) 受付は、午前8時30分から行うが、実施機関の実情に応じて適宜早めることは差し支えない。
- (3) 出頭した受験者の第1次試験受験票を確認し、受験心得「受験者の皆さんへ」を交付した上、その者に所定の試験室に入るよう指示する。受験心得「受験者の皆さんへ」については、受付において受験者に交付する方法のほか、実施機関の実情に応じて適宜の方法により配布することは差し支えない。ただし、受付において交付しない場合は、1時限の受験者着席の時刻までに配布を完了する。
- (4) 第1次試験受験票等を持参しなかった者については、次のとおり取り扱う。
  - ア 第1次試験受験票及び本人確認用の写真を持参しなかった場合
    - ア 1時限の試験開始後30分を経過するまでに本人確認用の写真を持参しなかった場合は受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。
    - イ 1時限の試験開始後30分を経過するまでに本人確認用の写真を持参した場合は、受験者名簿により氏名及び受験番号を確認した上、再発行用の第1次試験受験票用紙に所要事項を記入し、所定の位置に本人確認用の写真を貼り付けて作成した第1次試験受験票を交付し、所定の試験室に入るよう指示する。
  - イ 第1次試験受験票を持参せず、本人確認用の写真を持参した場合  
受験者名簿により氏名及び受験番号を確認した上、再発行用の第1次試験受験票用紙に所要事項を記入し、所定の位置に本人確認用の写真を貼り付けて作成した第1次試験受験票を交付し、所定の試験室に入るよう指示する。
  - ウ 第1次試験受験票を持参し、本人確認用の写真を持参しなかった場合
    - ア 1時限の試験開始後30分を経過するまでに本人確認用の写真を持参し

なかった場合は受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。

- (イ) 1時限の試験開始後30分を経過するまでに本人確認用の写真を持参した場合は、第1次試験受験票の所定の位置に本人確認用の写真を貼り付け、所定の試験室に入るよう指示する。
- (5) 受付時に、裁判所職員採用試験オンライン申込システムによる受験申込みをした者のうち第1次試験受験票の作成作業をしていない者については、のり、はさみ及び事務用パンチを貸与した上、所定の作成作業をさせ、所定の試験室に入るよう指示する。
- (6) 1時限の試験開始後30分以内に到着した者については、(3)から(5)までに定める手続により受け付け、予備室に入るよう指示し、直ちにその者の氏名及び受験番号を所定の試験室の試験官及び事務室係に連絡する。
- (7) 1時限の試験開始後30分を過ぎて到着した者については、受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。
- (8) 受付時における受験者からの質問に対する応答及び外来者の応接に当たるほか、試験開始後は、試験室の周囲が騒がしくならないように注意する。  
新聞記者等が試験場内に入ることを希望したときは、首席試験官の指示により、試験に影響のない限り、許可して差し支えない。

## 2 時計係の事務

- (1) 正確な時計を用意し、午前8時30分までに、他の係員に各自の時計を調整させる。
- (2) 時間割に定められた時刻に振鈴、ベル、口頭等で合図する。
- (3) 試験時間中は、事務室に待機し、適宜事務室と各試験室との連絡に当たる。

## 3 試験官及び試験室係の事務

- (1) 試験官は、試験室の正面中央に位置し、できるだけその位置を離れない。
- (2) 試験の開始及び終了の宣言は、合図（振鈴等）がありしだい直ちに行う（振鈴等の鳴り始めた時でよい。）。



- (3) 受験者の質問に対しては、試験官が応答する。回答は、全受験者に聞こえるようにする。

なお、試験問題の内容に関する質問については、次のとおり回答する。

「問題の内容にわたる事項ですから、お答えできません。問題に記載してある字句のままよく考えて解答してください。」

- (4) 試験官は、単独で決定できないことが起きたときは、係員を通じて、速やかに首席試験官の指示を受ける。このとき、試験官は、できるだけ試験室を離れないようにし、やむを得ず試験官が試験室を離れる場合であっても、必ず試験室係員のうち少なくとも1人が試験室に残るようにする。

- (5) 試験官は、身代わり受験等の不正行為をした者を発見したときは、直ちに首席試験官に報告し、首席試験官において不正行為と認められたときは、不正行為者に対して失格である旨を告げて試験席から退出させる。退出させる際には、第1次試験受験票の控え、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案及び草稿用紙（配布する場合に限る。）を回収し、第1次試験受験票の控え及び答案に「不正」と朱書する。また、不正行為者を試験席から退出させた後、試験場の外へ退出させるのは、1時限の試験開始後30分を経過した後とする。

なお、2時限目以降に不正行為が発見されたときは、必要に応じて前の時限の試験問題の回収に努める。

首席試験官は、不正行為の概要を速やかに高等裁判所を通じて人事局任用課試験第二係まで連絡するとともに、可能な限り不正行為者から事情を聴くなどして、不正行為に関する事実関係の把握に努める。

- (6) 試験官は、棄権者及び答案作成完了者の退室を認める。ただし、1時限の試験開始後30分間及び各時限終了前の15分間については退室を認めない。

なお、退室させる場合は、係員に次の作業をさせる。

ア 退室させる前に、棄権者及び答案作成完了者の答案、試験問題及び正誤表を回収させる。その際、試験問題の切取り等がないか十分に確認させる。棄

権者の答案には「キケン」と記載させる。

イ 当該時限終了後に、答案作成完了者に対し、回収した試験問題及び正誤表を交付させる。ただし、AYの1時限の試験問題及び正誤表については、BYの1時限終了後に交付させる。

(7) 1時限の試験開始後30分以内に到着した者については、人事局任用課試験第二係から別途指示する場合を除き、試験時間の延長を認めない。

なお、延長の必要性について疑義がある場合は、人事局任用課試験第二係に照会する。

(8) 試験官は、2時限の試験開始時刻に遅れた者については、受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。

(9) 係員は、試験中随時受験者の間を回り、不正行為があるかどうかを監視する。

(10) 受験者から時刻を聞かれたときは、その都度教えて差し支えない。

(11) 受験者をトイレ等の理由で一時途中退室させる場合、係員は、受験者が自席を離れる際に、受験者が通信機器を携帯していないことを確認する。

(12) その他各時限ごとの事務は、別紙のとおりとする。

#### 4 事務室係の事務

(1) 受付開始の10分前までに、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案用紙、受験者名簿、再発行用の第1次試験受験票用紙、通信機器を入れる封筒、実施報告書用紙及び事務用品を事務室に搬入する。

(2) 試験時刻等の告知にベルを使用する試験場は、故障に備えて、あらかじめ他の方法を考慮する。

(3) 受付開始の前に、受験者名簿及び再発行用の第1次試験受験票用紙を受付係に交付する。

(4) 各時限の試験室係員の入室前に、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案用紙、通信機器を入れる封筒、第1次試験受験票（2時限に限る。）、実施報告書用紙及び事務用品を試験官に交付する。その際、事務室で

待機する首席試験官は、正誤表の有無を試験官に告げる。

- (5) 試験終了後、各試験室からの答案等について、実施報告書の記入事項と一致しているかどうか及び答案の所定の欄に所要事項が漏れなく記入されているかどうかを厳重に点検の上、受領する。
- (6) 次の表の「品目」に掲げるものを同表の「整理方法」に定める方法により、全科目の終了後それぞれ速やかに整理する。

品 目		整 理 方 法
有効答案		試験の種類別，科目別，受験番号順
無効答案	不正行為	同上
	棄権	同上
第1次試験受験票		有効及び無効の別，試験の種類別，受験番号順
未使用試験問題		適宜
未使用答案用紙		同上
実施報告書		試験の種類別，科目別

(別紙)

1 時限 第1次試験基礎能力試験 (多肢選択式)

時刻	事務内容	発言内容
8:30 まで	1 時計係と時計の調整をする。 2 各担当試験室の整備をする。	(発言は、試験官が行う。)
8:50 まで	事務室で試験問題、正誤表(配布する場合に限る。)、答案用紙、通信機器を入れる封筒、実施報告書用紙及び事務用品を受領し、試験室に入る。 受領の際、首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。	
8:50	1 受験者の入室完了を確認する。 2 受付手続の確認 3 第1次試験受験票及び「受験者の皆さんへ」の所持の有無の確認 4 机に表示してある受験番号の確認及び第1次試験受験票に関する注意 5 氏名、住所等の変更申出の指示 6 通信機器を利用した不正行為防止のための注意 (注) ①～⑤の順に、受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。	受付を済ませていない人はいませんか。いましたら手を挙げてください。 受験票及び「受験者の皆さんへ」を持っていない人はいませんか。いましたら手を挙げてください。 自分の受験番号と着席した机に表示してある受験番号とが一致しているかどうかを確認してください。受験票は、後ほど回収しますので、写真の貼ってある面を表にし、机に表示してある受験番号の横に置いてください。郵便でお送りした受験票については、受験票の控えと切り離しておいてください。 受験申込みの時から氏名、住所等に変更のある人は、受験票の写真の下の余白に変更後の内容を赤のペン又はボールペンで記載してください。赤のペン又はボールペンを持っていない方は手を挙げてください。 ① 携帯電話等の通信機器を持っている人は、全ての通信機器を机の上に出してください。 ② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。 ③ 電源が切れていることの確認ができた人

	<p>7 9時40分までの間に、第1次試験受験票の回収及び同受験票の写真による本人確認を行う。</p> <p>(注1) 誤って受験票の控えを回収しないよう注意する。</p> <p>(注2) 回収及び本人確認は試験開始後に始めてもよい。</p> <p>8 第1次試験に関する注意の告知</p>	<p>は、全ての通信機器をかばん等の中にしまい、かばん等は、必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。</p> <p>(挙手した者がいた場合、封筒を交付し、以下のとおり発言する。</p> <p>今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し、通信機器を入れた上で、係員に預けてください。預かった通信機器はこの時間の試験終了後に返却しますので、係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。)</p> <p>⑤ 試験時間中、通信機器を、衣類のポケットなど、かばん等の外に携帯していた場合は、その使用の有無にかかわらず、不正行為とみなし、失格者として扱いますので、注意してください。</p> <p>ただいまから、本日の第1次試験についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>多肢選択式試験で使用する筆記用具は、HBの鉛筆又はシャープペンシルです。机の上には、受験票、受験票の控え、HBの鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム及び時計のほかは、置いてはいけません。配布した「受験者の皆さんへ」と題する書面もかばん等にしまってください。下敷きの使用は認めません。また、計算機能が付いている時計の使用は認めませんので、そのような時計をお持ちの方は、かばん等にしまってください。HBの</p>
--	---	--

	<p>(1) 試験中の行動についての注意</p> <p>(2) 棄権及び退室の際の注意</p> <p>9 試験時間の確認</p> <p>10 次の試験に関する注意</p> <p>9:00 1 答案用紙、試験問題及び正誤表（配布する場合に限る。）の配布</p> <p>(1) 試験問題の包みは、配布直前に開封する。</p> <p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p> <p>(3) 欠席者の席には配布しない。</p> <p>(4) 配布終了後、直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p>	<p>筆記用具を持ち合わせていない人は、ここで係員に申し出てください。</p> <p>試験中の喫煙、飲食は認めません。試験中に他の受験者と話をしたり、こちらから配布したもの以外のものを見たり、その他不正な行為をしたりした人は、失格者として退室してもらいますので、絶対にしないでください。</p> <p>試験中疑問のある人又はトイレに行きたい人は、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。</p> <p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き、黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また、試験終了時刻前に退室したい人も、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、1時限の試験開始から30分間及び各時限の試験終了前の15分間は、退室を認めません。</p> <p>【AYの受験者に対し】</p> <p>1時限の基礎能力試験の試験時間は、9時10分から11時35分までの2時間25分です。</p> <p>【BYの受験者に対し】</p> <p>1時限の基礎能力試験の試験時間は、9時10分から12時10分までの3時間です。</p> <p>次の試験は、13時25分から開始します。13時10分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、受験できません。</p> <p>これから答案用紙1枚、試験問題集1部（、正誤表1部）を配りますが、試験問題集（及び正誤表）は、開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>【AYの受験者に対し】</p> <p>試験問題集（及び正誤表）は、試験終了後、係員が答案とともに一旦回収し、●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた</p>
--	---	---

	<p>2 受験番号、試験地及び氏名の記入の指示</p> <p>3 解答問題数に関する注意 【AYの受験者に対して発言】</p>	<p>場合は交付することができませんので、注意してください。</p> <p>なお、棄権により途中退出する場合は、試験問題集（及び正誤表）の持ち帰りは認めません。</p> <p>（注）●は12時10分以降の適宜の時刻を、■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>【BYの受験者に対し】</p> <p>試験問題集（及び正誤表）は、試験終了後、持ち帰ってください。</p> <p>ただし、途中退室する場合は、係員が答案とともに試験問題集（及び正誤表）を一旦回収し、●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので、注意してください。</p> <p>なお、棄権により途中退出する場合は、試験問題集（及び正誤表）の持ち帰りは認めません。</p> <p>（注）●は12時10分以降の適宜の時刻を、■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>それでは、試験問題集の記入例を参考に、答案用紙に「受験番号」、「試験地」及び「氏名」を記入してください。また、試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>なお、答案用紙に受験番号を記入する際は、すぐ下の欄の該当する箇所のマークも同時に行ってください。</p> <p>「種別」欄は、院卒者試験受験者は、「AY」をマークしてください。大卒程度試験受験者は「BY」をマークしてください。</p> <p>マークする際は、受験票の控えの記載をよく確認してください。</p> <p>【AYの受験者に対して】</p> <p>この試験問題集には、問題1から40までが掲載されていますが、院卒者試験受験者の方は、問題1から30まで解答してください。</p>
--	---	---

	<p>4 受験上の注意事項についての質疑応答 (注)遅くとも試験開始の2分前には、この発言をする。</p>	<p>試験問題集の表紙の注意事項を声を出さずに読んでください。注意事項について疑問のある人は、手を挙げて質問してください。</p> <p>読み終わりましたら、開始の合図があるまでの間、答案用紙に記入した受験番号やマークの位置などが間違っていないか、よく点検してください。特に、受験番号のマークについて、「1」と「0」の位置を取り違えていないか、よく確認してください。</p>
9:10	<p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁、乱丁等のある試験問題の交換</p> <p>3 係員は、欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p>	<p>始めてください。</p> <p>(試験問題の内容について、一部訂正がありますので、正誤表を参照してください。)</p> <p>もし、落丁、乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら、交換しますから、黙ったまま手を挙げてください。</p>
11:55 【AYの受験者は11:20】	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま、試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は、答案の提出を認めません。</p>
12:10 【AYの受験者は11:35】	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意</p> <p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収する。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて、試験問題集を閉じてください。</p> <p>もう一度受験番号、試験地、氏名に記入漏れや、マークの位置に間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には、これから係員が答案を回収しますので、その際に申し出た上、訂正してください。</p> <p>では、答案を係員が回収しますから、着席したまま静かにお待ちください。</p>



	<p>，回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 2時限に行われる試験についての注意及び退室の指示</p> <p>6 試験官は，提出された答案を実施報告書と照合し，無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は，第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別，試験の種類別並びに受験番号順に整理し，実施報告書，整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	<p>次の試験は，13時10分に着席の合図をしますから，遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると，試験を受けられません。これで基礎能力試験を終わります。</p> <p>【AYの受験者に対し】</p> <p>12時10分までは，他の受験者の試験中ですので，試験室周辺では静かにしてください。</p> <p>(予備室)</p> <p>また，午後の試験は，この試験室ではなく，所定の試験室で受験してください。</p>
--	---	--

2時限 第1次試験専門試験（記述式）

時刻	事務内容	発言内容
13:10 まで	<p>事務室で試験問題，正誤表（配布する場合に限る。），答案用紙，通信機器を入れる封筒，第1次試験受験票，実施報告書用紙及び事務用品を受領し，試験室に入る。</p> <p>受領の際，首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。</p>	
13:10	<p>1 受験者の入室完了を確認する。</p> <p>2 通信機器を利用した不正行為防止のための注意                      （注）①～⑤の順に，受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。</p> <p>3 本人確認                      第1次試験受験票の写真による本</p>	<p>① 携帯電話等の通信機器を持っている人は，全ての通信機器を机の上に出してください。</p> <p>② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。</p> <p>③ 電源が切れていることの確認ができた人は，全ての通信機器をかばん等の中にしまい，かばん等は，必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。                      （挙手した者がいた場合，封筒を交付し，以下のとおり発言する。                      今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し，通信機器を入れた上で，係員に預けてください。預かった通信機器はこの時限の試験終了後に返却しますので，係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。）</p> <p>⑤ 試験時間中，通信機器を，衣類のポケットなど，かばん等の外に携帯していた場合は，その使用の有無にかかわらず，不正行為とみなし，失格者として扱いますので，注意してください。</p>

	<p>人確認を行う。  (注) 確認は試験開始後に始めてもよい。</p> <p>4 試験に関する注意の告知</p> <p>5 棄権及び退室の際の注意</p> <p>6 試験時間の確認</p> <p>7 本日の試験終了の説明</p>	<p>ただいまから、専門試験についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>この試験で使用する筆記用具は、HBの鉛筆又はシャープペンシルです。机の上には、受験票の控え、HBの鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム及び時計のほかは、置いてはいけません。HBの筆記用具を持ち合わせていない人は、ここで係員に申し出てください。</p> <p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き、黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また、試験終了時刻前に退室したい人も、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験終了前の15分間は、退室を認めません。</p> <p>専門試験の試験時間は、13時25分から15時55分までの2時間30分です。</p> <p>この試験で本日の試験は終わりますから、試験終了後、忘れ物のないようお帰りください。</p> <p>第1次試験の合格発表日は、◎月◎日(◎)です。合格発表に関しては、試験開始前に配布した「受験者の皆さんへ」という書面に記載してありますので、後で参照してください。</p> <p>(注) ◎は第1次試験合格者発表日を記入する。</p>
13:15	<p>1 答案用紙、試験問題及び正誤表(配布する場合に限る。)の配布</p> <p>(1) 試験問題の包みは、配布直前に開封する。</p> <p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p> <p>(3) 欠席者の席には配布しない。</p>	<p>これから答案用紙1枚、試験問題集1部(正誤表1部)を配りますが、試験問題集(及び正誤表)は、開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>試験問題集(及び正誤表)は、試験終了後、持ち帰ってください。</p>

	<p>(4) 配布終了後、直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p> <p>2 試験地、受験番号及び氏名の記入の指示</p> <p>3 選択科目に関する注意</p> <p>4 答案作成上の注意</p>	<p>ただし、途中退室する場合は、係員が答案とともに試験問題集（及び正誤表）を一旦回収し、●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので、注意してください。</p> <p>なお、棄権により途中退出する場合は、試験問題集（及び正誤表）の持ち帰りは認めません。</p> <p>(注) ●は15時55分以降の適宜の時刻を、■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>それでは、試験問題集の記入例を参考に、答案用紙の両面に「試験地」、「受験番号」及び「氏名」を記入してください。また、試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>問題は、各出題分野とも、必須問題が3題、選択問題が6題あります。選択問題については、必須問題と同じ科目3題か法律学3題のいずれかを選択し、計6題を解答してください。答案用紙は、オレンジ色で印刷された表面に必須問題、水色で印刷された裏面に選択問題を解答してください。また、答案用紙の裏面にある「選択科目」欄には、選択解答した科目名（心理学、社会学、社会福祉学、教育学及び法律学のうち1科目）を記入してください。</p> <p>なお、申込時に選択した心理学等、社会学等、社会福祉学等及び教育学等の出題分野に関しては変更できませんので、必ず申込時に選択した分野の問題を解答してください。</p> <p>解答は、横書きで、升目に合わせて書いてください。ただし、数式を使用する必要がある場合には、升目に合わせる必要はなく、解答欄の枠内に適宜の大きさと記載してください。</p> <p>解答を訂正するときは、消しゴムできれいに消してください。</p> <p>下書きは、試験問題集の余白部分を利用し</p>
--	--	---

	<p>5 受験上の注意事項についての質疑応答 (注)遅くとも試験開始の2分前には、この発言をする。</p>	<p>てください。 試験問題集の表紙の注意事項を声を出さずに読んでください。注意事項について疑問のある人は、手を挙げて質問してください。 読み終わりましたら、開始の合図があるまでの間、答案用紙に記入した受験番号などが間違っていないか、よく点検してください。</p>
13:25	<p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁、乱丁等のある試験問題の交換</p> <p>3 係員は、欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p> <p>4 途中退室は、写真による本人確認終了後に許可する。</p>	<p>始めてください。 (試験問題の内容について、一部訂正がありますので、正誤表を参照してください。) もし、落丁、乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら、交換しますから、黙ったまま手を挙げてください。</p>
15:40	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま、試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は、答案の提出を認めません。</p>
15:55	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意</p> <p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収する。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて、試験問題集を閉じてください。 もう一度試験地、受験番号、氏名、選択科目に記入漏れや、間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には、これから係員が答案を回収しますので、その際に申し出た上、訂正してください。 では、答案を係員が回収しますから、着席したまま静かにお待ちください。</p>

	<p>認する。</p> <p>5 退室等の指示</p> <p>6 試験官は、提出された答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	<p>これで本日の試験を終わります。お疲れ様でした。</p>
--	---	--------------------------------

(別紙様式第3)

D及びE第1次試験実施要領書

最高裁判所事務総局人事局

この実施要領書は、D及びEの第1次試験を全国的に統一して公正かつ平等に実施するために定められたものである。

試験の実施に当たっては、全てこの要領書に定めるところによるものとする。



平成△年△月△日 (△)

D-□及びE-□第1次試験時間割

事 項		時 刻	試験の内容
1 時 限	受付開始	12時30分	基礎能力試験 (多肢選択式)
	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	12時50分	
	試験問題等の配布	13時00分	
	○試験開始	13時10分	
	試験終了15分前の予告	14時35分	
	○試験終了	14時50分	
(休 憩)			
2 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	15時10分	作文試験
	試験問題等の配布	15時15分	
	○試験開始	15時25分	
	試験終了15分前の予告	16時00分	
	○試験終了	16時15分	

(注)

- 1 平成△年△月△日 (△) には、試験日を記入する。
- 2 □には、実施年度の試験の略称の数字を記入する。
- 3 ○は、振鈴等による時刻の合図を示す。

## 1 受付係の事務

- (1) 受付開始の前に、事務室係から受験者名簿及び再発行用の第1次試験受験票用紙を受領する。
- (2) 受付は、午後零時30分から行うが、実施機関の実情に応じて適宜早めることは差し支えない。
- (3) 出頭した受験者の第1次試験受験票を確認し、受験心得「受験者の皆さんへ」を交付した上、その者に所定の試験室に入るよう指示する。受験心得「受験者の皆さんへ」については、受付において受験者に交付する方法のほか、実施機関の実情に応じて適宜の方法により配布することは差し支えない。ただし、受付において交付しない場合は、1時限の受験者着席の時刻までに配布を完了する。
- (4) 第1次試験受験票を持参しなかった者等については、次のとおり取り扱う。
  - ア 第1次試験受験票を持参しなかった者については、受験者名簿により氏名及び受験番号を確認した上、再発行用の第1次試験受験票用紙に所要事項を記入し、その右肩に朱書きで「再」と表示して作成した第1次試験受験票を交付し、所定の試験室に入るよう指示する。
  - イ 申込書に本人確認用の写真を貼っていない者が本人確認用の写真を持参した場合は、その本人確認用の写真を試験室で試験官の指示に従って提出するよう告げて、所定の試験室に入るよう指示する。
  - ウ 申込書に本人確認用の写真を貼っていない者が本人確認用の写真を持参しなかった場合は、1時限の試験開始後30分を経過するまでに本人確認用の写真を持参しなかった場合は受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。
- (5) 1時限の試験開始後30分以内に到着した者については、(3)及び(4)に定める手続により受け付け、予備室に入るよう指示し、直ちにその者の氏名及び受験番号を所定の試験室の試験官及び事務室係に連絡する。

- (6) 1時限の試験開始後30分を過ぎて到着した者については、受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。
- (7) 受付時における受験者からの質問に対する応答及び外来者の応接に当たるほか、試験開始後は、試験室の周囲が騒がしくならないように注意する。

新聞記者等が試験場内に入ることを希望したときは、首席試験官の指示により、試験に影響のない限り、許可して差し支えない。

## 2 時計系の事務

- (1) 正確な時計を用意し、午後零時30分までに、他の係員に各自の時計を調整させる。
- (2) 時間割に定められた時刻に振鈴、ベル、口頭等で合図する。
- (3) 試験時間中は、事務室に待機し、適宜事務室と各試験室との連絡に当たる。

## 3 試験官及び試験室係の事務

- (1) 試験官は、試験室の正面中央に位置し、できるだけその位置を離れない。
- (2) 試験の開始及び終了の宣言は、合図（振鈴等）がありしだい直ちに行う（振鈴等の鳴り始めた時でよい。）。
- (3) 受験者の質問に対しては、試験官が応答する。回答は、全受験者に聞こえるようにする。

なお、試験問題の内容に関する質問については、次のとおり回答する。

「問題の内容にわたる事項ですから、お答えできません。問題に記載してある字句のままよく考えて解答してください。」

- (4) 試験官は、単独で決定できないことが起きたときは、係員を通じて、速やかに首席試験官の指示を受ける。このとき、試験官は、できるだけ試験室を離れないようにし、やむを得ず試験官が試験室を離れる場合であっても、必ず試験室係員のうち少なくとも1人が試験室に残るようにする。
- (5) 試験官は、身代わり受験等の不正行為をした者を発見したときは、直ちに首席試験官に報告し、首席試験官において不正行為と認められたときは、不正行為者

に対して失格である旨を告げて試験席から退出させる。退出させる際には、第1次試験受験票、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案及び草稿用紙（配布する場合に限る。）を回収し、第1次試験受験票及び答案に「不正」と朱書する。また、不正行為者を試験席から退出させた後、試験場の外へ退出させるのは、1時限の試験開始後30分を経過した後とする。

なお、2時限目に不正行為が発見されたときは、必要に応じて1時限の試験問題の回収に努める。

首席試験官は、不正行為の概要を速やかに高等裁判所を通じて人事局任用課試験第二係まで連絡するとともに、可能な限り不正行為者から事情を聴くなどして、不正行為に関する事実関係の把握に努める。

- (6) 試験官は、棄権者及び答案作成完了者の退室を認める。ただし、1時限の試験開始後30分間及び各時限終了前の15分間は、退室を認めない。

なお、退室させる場合は、係員に次の作業をさせる。

ア 退室させる前に、棄権者及び答案作成完了者の答案、試験問題及び正誤表を回収させる。その際、試験問題の切取り等がないか十分に確認させる。棄権者の答案には「キケン」と記載させる。

イ 当該時限終了後に、答案作成完了者に対し、回収した試験問題及び正誤表を交付させる。

- (7) 1時限の試験開始後30分以内に到着した者については、人事局任用課試験第二係から別途指示する場合を除き、試験時間の延長を認めない。

なお、延長の必要性について疑義がある場合は、人事局任用課試験第二係に照会する。

- (8) 試験官は、2時限の試験開始時刻に遅れた者については、受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。

(9) 係員は、試験中随時受験者の間を回り、不正行為があるかどうかを監視する。

(10) 受験者から時刻を聞かれたときは、その都度教えて差し支えない。

- (11) 受験者をトイレ等の理由で一時途中退室させる場合、係員は、受験者が自席を離れる際に、受験者が通信機器を携帯していないことを確認する。
- (12) 試験終了後、氏名又は住所に変更のあった受験者からその旨の届出を受け付ける。この場合には、申込書の変更箇所を朱線で抹消の上、変更後の氏名又は住所を朱書する。
- (13) その他各時限ごとの事務は、別紙のとおりとする。

#### 4 事務室係の事務

- (1) 受付開始の10分前までに、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案用紙、受験者名簿、再発行用の第1次試験受験票用紙、申込書、草稿用紙、通信機器を入れる封筒、実施報告書用紙及び事務用品を事務室に搬入する。
- (2) 試験時刻等の告知にベルを使用する試験場は、故障に備えて、あらかじめ他の方法を考慮する。
- (3) 受付開始の前に、受験者名簿及び再発行用の第1次試験受験票用紙を受付係に交付する。
- (4) 各時限の試験室係員の入室前に、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案用紙、申込書、草稿用紙（2時限に限る。）、通信機器を入れる封筒、実施報告書用紙及び事務用品を試験官に交付する。その際、事務室で待機する首席試験官は、正誤表の有無を試験官に告げる。
- (5) 遅刻した者の申込書をその者の所定の試験室係員から受領し、予備室の試験官に交付する。
- (6) 試験終了後、各試験室からの答案等について、実施報告書の記入事項と一致しているかどうか及び答案の所定の欄に所要事項が漏れなく記入されているかどうかを厳重に点検の上、受領する。
- (7) 次の表の「品目」に掲げるものを同表の「整理方法」に定める方法により、全科目の終了後それぞれ速やかに整理する。

品 目	整 理 方 法
-----	---------

有効答案		試験の種類別，科目別，受験番号順
無効答案	不正行為	同上
	棄権	同上
申込書		有効及び無効の別，試験の種類別，受験番号順
未使用試験問題		適宜
未使用答案用紙		同上
実施報告書		試験の種類別，科目別

(別紙)

1 時限 第1次試験基礎能力試験 (多肢選択式)

時刻	事務内容	発言内容
12:30 まで	1 時計係と時計の調整をする。 2 各担当試験室の整備をする。	(発言は、試験官が行う。)
12:50 まで	事務室で試験問題、正誤表(配布する場合に限る。)、答案用紙、申込書、通信機器を入れる封筒、実施報告書用紙及び事務用品を受領し、試験室に入る。 受領の際、首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。	
12:50	1 受験者の入室完了を確認する。 2 受付手続の確認 3 第1次試験受験票及び「受験者の皆さんへ」の所持の有無の確認 4 机に表示してある受験番号の確認及び第1次試験受験票に関する注意 5 申込書に写真を貼っていなかった者及び署名をしていなかった者がいるときの指示 (1) 写真を貼っていなかった者については、持参した写真の裏に受験番号及び氏名を記入させ、直ちに回収する。 (2) 署名をしていなかった者については、署名させる。 6 通信機器を利用した不正行為防止のための注意 (注) ①～⑤の順に、受験者全員が各発言に従っていることを確認	受付を済ませていない人はいませんか。いましたら手を挙げてください。 受験票及び「受験者の皆さんへ」を持っていない人はいませんか。いましたら手を挙げてください。 自分の受験番号と着席した机に表示してある受験番号とが一致しているかどうかを確認してください。受験票は、机に表示してある受験番号の横に置いてください。 申込書に写真を貼っていなかった人及び署名をしていなかった人は、手を挙げてください。 ① 携帯電話等の通信機器を持っている人は、全ての通信機器を机の上に出してください。 ② 机の上の全ての通信機器の電源を切って

	<p>してから次の発言を行う。</p> <p>7 本人確認 13時40分までの間に、申込書の写真による本人確認を行う。 (注) 確認は試験開始後に始めてもよい。</p> <p>8 試験に関する注意の告知</p>	<p>ください。</p> <p>③ 電源が切れていることの確認ができた人は、全ての通信機器をかばん等の中にしまい、かばん等は、必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。 (挙手した者がいた場合、封筒を交付し、以下のとおり発言する。 今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し、通信機器を入れた上で、係員に預けてください。預かった通信機器はこの时限の試験終了後に返却しますので、係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。)</p> <p>⑤ 試験時間中、通信機器を、衣類のポケットなど、かばん等の外に携帯していた場合は、その使用の有無にかかわらず、不正行為とみなし、失格者として扱いますので、注意してください。</p> <p>ただいまから、本日の試験についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>多肢選択式試験で使用する筆記用具は、HBの鉛筆又はシャープペンシルです。机の上には、受験票、HBの鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム及び時計のほかは、置いてはいけません。配布した「受験者の皆さんへ」と題する書面もかばん等にしまってください。下敷きの使用は認めません。また、計算機能が付いている時計の使用は認めませんので、そのような時計をお持ちの方は、かばん等にしまってください。HBの筆記用具を持ち</p>
--	---	--



	<p>(1) 試験中の行動についての注意</p> <p>(2) 棄権及び退室の際の注意</p> <p>9 試験時間の確認</p> <p>10 次の試験に関する注意</p> <p>13:00 1 答案用紙、試験問題及び正誤表（配布する場合に限る。）の配布</p> <p>(1) 試験問題の包みは、配布直前に開封する。</p> <p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p> <p>(3) 欠席者の席には配布しない。</p> <p>(4) 配布終了後、直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p>	<p>合わせていない人は、ここで係員に申し出て下さい。</p> <p>試験中の喫煙、飲食は認めません。試験中に他の受験者と話をしたり、こちらから配布したものの以外のもを見たり、その他不正な行為をしたりした人は、失格者として退室してもらいますので、絶対にしないでください。</p> <p>試験中疑問のある人又はトイレに行きたい人は、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。</p> <p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き、黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また、試験終了時刻前に退室したい人も、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、1時限の試験開始から30分間及び各時限の試験終了前の15分間は、退室を認めません。</p> <p>1時限の基礎能力試験の試験時間は、13時10分から14時50分までの1時間40分です。</p> <p>次の試験は、15時25分から開始します。15時10分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、受験できません。</p> <p>これから答案用紙1枚、試験問題集1部（正誤表1部）を配りますが、試験問題集（及び正誤表）は、開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>試験問題集（及び正誤表）は、試験終了後、持ち帰ってください。</p> <p>ただし、途中退室する場合は、係員が答案とともに試験問題集（及び正誤表）を一旦回収し、●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので、注意してください。</p> <p>なお、棄権により途中退出する場合は、試</p>
--	--	--

		<p>験問題集（及び正誤表）の持ち帰りは認めません。</p> <p>（注）●は14時50分以降の適宜の時刻を，■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>それでは，試験問題集の記入例を参考に，答案用紙に「受験番号」，「試験地」及び「氏名」を記入してください。また，試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>なお，答案用紙に受験番号を記入する際は，すぐ下の欄の該当する箇所のマークも同時に行ってください。</p> <p>マークする際は，受験票の記載をよく確認してください。</p> <p>試験問題集の表紙の注意事項を声を出さずに読んでください。注意事項について疑問のある人は，手を挙げて質問してください。</p> <p>読み終わりましたら，開始の合図があるまでの間，答案用紙に記入した受験番号やマークの位置などが間違っていないか，よく点検してください。特に，受験番号のマークについて，「1」と「0」の位置を取り違えていないか，よく確認してください。</p>
	<p>2 受験番号，試験地及び氏名の記入の指示</p> <p>3 受験上の注意事項についての質疑応答</p> <p>（注）遅くとも試験開始の2分前には，この発言をする。</p>	
13:10	<p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁，乱丁等のある試験問題の交換</p> <p>3 係員は，欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p>	<p>始めてください。</p> <p>（試験問題の内容について，一部訂正がありますので，正誤表を参照してください。）</p> <p>もし，落丁，乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら，交換しますから，黙ったまま手を挙げてください。</p>
14:35	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま，試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は，答案の提出を認めません。</p>
14:50	<p>1 試験終了の宣言</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて，試験</p>

	<p>2 答案の回収に当たっての注意</p> <p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収する。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 2時限に行われる試験についての注意及び退室の指示</p> <p>6 試験官は、提出された答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、申込書を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	<p>問題集を閉じてください。</p> <p>もう一度受験番号、試験地、氏名に記入漏れや、マークの位置に間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には、これから係員が答案を回収しますので、その際に申し出た上、訂正してください。</p> <p>では、答案を係員が回収しますから、着席したまま静かにお待ちください。</p> <p>次の試験は、15時10分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、試験を受けられません。これで基礎能力試験を終わります。</p> <p>(予備室)</p> <p>また、次の試験は、この試験室ではなく、所定の試験室で受験してください。</p>
--	--	---

2 時限 第 1 次試験作文試験

時 刻	事 務 内 容	発 言 内 容
15:10 まで	<p>事務室で試験問題，正誤表（配布する場合に限る。），答案用紙，申込書，草稿用紙，通信機器を入れる封筒，実施報告書用紙及び事務用品を受領し，試験室に入る。</p> <p>受領の際，首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。</p>	
15:10	<p>1 受験者の入室完了を確認する。</p> <p>2 通信機器を利用した不正行為防止のための注意                      (注) ①～⑤の順に，受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。</p> <p>3 本人確認                      申込書の写真による本人確認を行</p>	<p>① 携帯電話等の通信機器を持っている人は，全ての通信機器を机の上に出してください。</p> <p>② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。</p> <p>③ 電源が切れていることの確認ができた人は，全ての通信機器をかばん等の中にしまい，かばん等は，必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。                      (挙手した者がいた場合，封筒を交付し，以下のとおり発言する。                      今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し，通信機器を入れた上で，係員に預けてください。預かった通信機器はこの時限の試験終了後に返却しますので，係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。)</p> <p>⑤ 試験時間中，通信機器を，衣類のポケットなど，かばん等の外に携帯していた場合は，その使用の有無にかかわらず，不正行為とみなし，失格者として扱いますので，注意してください。</p>

<p>15:15</p>	<p>う。  (注) 確認は試験開始後に始めてもよい。</p> <p>4 試験に関する注意の告知</p> <p>5 棄権及び退室の際の注意</p> <p>6 試験時間の確認</p> <p>7 本日の試験終了の説明</p> <p>8 氏名、住所等の変更の届出の指示</p> <p>1 答案用紙、試験問題及び正誤表（</p>	<p>ただいまから、作文試験についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>この試験では、鉛筆書きは認めません。机の上には、受験票、黒のペン又はボールペン及び時計のほかは、置いてはいけません。また、下敷きの使用は認めません。</p> <p>なお、筆記用具については、消しゴムなどでインクを容易に消すことができるものの使用は認めませんので、この試験で使用できる筆記用具を持ち合わせていない人は、ここで係員に申し出てください。</p> <p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き、黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また、試験終了時刻前に退室したい人も、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験終了前の15分間は、退室を認めません。</p> <p>2時限の作文試験の試験時間は、15時25分から16時15分までの50分間です。</p> <p>この試験で第1次試験は終わりますから、試験終了後、忘れ物のないようお帰りください。</p> <p>第1次試験の合格発表日は、◎月◎日(◎)です。合格発表に関しては、試験開始前に配布した「受験者の皆さんへ」という書面に記載してありますので、後で参照してください。</p> <p>(注) ◎は第1次試験合格者発表日を記入する。</p> <p>受験申込書に記入した氏名、住所等に変更のある人は、試験終了後、試験室を退出する前に係員に届け出てください。</p> <p>これから答案用紙1枚、試験問題集1部（</p>
--------------	--	--

<p>15:25</p>	<p>配布する場合に限る。)の配布</p> <p>(1) 試験問題の包みは、配布直前に開封する。</p> <p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p> <p>(3) 欠席者の席には配布しない。</p> <p>(4) 配布終了後、直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p> <p>2 受験科目名、試験地、受験番号及び氏名の記入の指示</p> <p>3 答案用紙、草稿用紙の追加配布</p> <p>4 受験上の注意事項についての質疑応答</p> <p>(注) 遅くとも試験開始の2分前には、この発言をする。</p> <p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁、乱丁等のある試験問題の交換</p>	<p>、正誤表1部)を配りますが、試験問題集(及び正誤表)は、開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>試験問題集(及び正誤表)は、試験終了後、持ち帰ってください。</p> <p>ただし、途中退室する場合は、係員が答案とともに試験問題集(及び正誤表)を一旦回収し、●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので、注意してください。</p> <p>なお、棄権により途中退出する場合は、試験問題集(及び正誤表)の持ち帰りは認めません。</p> <p>(注) ●は16時15分以降の適宜の時刻を、■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>それでは、試験問題集の記入例を参考に、答案用紙に「受験科目」、「試験地」、「受験番号」及び「氏名」を記入してください。「試験名」欄には何も記入しないでください。また、試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>なお、答案用紙が不足したときは、手を挙げて係員に申し出てください。また、草稿には、試験問題集の余白を利用してください。草稿のための用紙が必要になったときは、手を挙げて係員に申し出てください。</p> <p>試験問題集の表紙の注意事項を声を出さずに読んでください。注意事項について疑問のある人は、手を挙げて質問してください。</p> <p>読み終わりましたら、開始の合図があるまでの間、答案用紙に記入した受験番号などが間違っていないか、よく点検してください。</p> <p>始めてください。</p> <p>(試験問題の内容について、一部訂正がありますので、正誤表を参照してください。)</p> <p>もし、落丁、乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら、交換しますから、</p>
--------------	--	--

<p>16:00</p>	<p>3 係員は、欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p> <p>4 途中退室は、写真による本人確認終了後に許可する。</p> <p>答案の提出の停止</p>	<p>黙ったまま手を挙げてください。</p> <p>ただいま、試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は、答案の提出を認めません。</p>
<p>16:15</p>	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意</p> <p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収する。追加で答案用紙を使用した者の答案は、ステープラーで左側の上部及び中央部の2箇所をとじた上、右側の上部に付箋を貼る。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 退室等の指示</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて、試験問題集を閉じてください。</p> <p>もう一度受験科目、試験地、受験番号、氏名に記入漏れや、間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には、これから係員が答案を回収しますので、その際に申し出た上、訂正してください。</p> <p>答案を係員が回収しますから、机の上に置いて、着席したまま静かにお待ちください。</p> <p>なお、試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙は、持ち帰ってください。</p> <p>（注）追加で答案用紙を配布したときは、これに続けて次のことを告げる。</p> <p>「追加で答案用紙を使用したときは、回収の際、係員に申し出てください。」</p> <p>これで本日の試験を終わります。お疲れ様でした。</p>

	<p>6 試験官は、提出された答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、申込書を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	
--	--	--



(別紙様式第4)

A X及びB X第2次試験政策論文試験及び専門試験（憲法を除く。）実施要領書

最高裁判所事務総局人事局

この実施要領書は、A X及びB Xの第2次試験政策論文試験及び専門試験（憲法を除く。）を全国的に統一して公正かつ平等に実施するために定められたものである。

試験の実施に当たっては、全てこの要領書に定めるところによるものとする。

平成△年△月△日（△）

A X - □ 第 2 次 試験 政策論文試験及び専門試験（憲法を除く。）時間割

事 項		時 刻	試験の内容
1 時 限	受付開始	9時20分	政策論文試験（記述式）
	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	9時40分	
	試験問題等の配布	9時50分	
	○試験開始	10時00分	
	試験終了15分前の予告	11時15分	
	○試験終了	11時30分	
（ 昼 食 ）			
2 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	12時30分	民法（記述式） 刑法（記述式）
	試験問題等の配布	12時35分	
	○試験開始	12時45分	
	試験終了15分前の予告	14時30分	
	○試験終了	14時45分	
	（ 休 憩 ）		
3 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	15時10分	民事訴訟法（記述式） 又は 刑事訴訟法（記述式）
	試験問題等の配布	15時15分	
	○試験開始	15時25分	
	試験終了15分前の予告	16時10分	
	○試験終了	16時25分	

（注）

- 1 平成△年△月△日（△）には，試験日を記入する。
- 2 □には，実施年度の試験の略称の数字を記入する。
- 3 ○は，振鈴等による時刻の合図を示す。

平成△年△月△日（△）

B X - □ 第 2 次 試験 政策論文試験及び専門試験（憲法を除く。）時間割

事 項		時 刻	試験の内容
1 時 限	受付開始	9 時 2 0 分	政策論文試験（記述式）
	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	9 時 4 0 分	
	試験問題等の配布	9 時 5 0 分	
	○試験開始	1 0 時 0 0 分	
	試験終了 1 5 分前の予告	1 1 時 1 5 分	
	○試験終了	1 1 時 3 0 分	
( 昼 食 )			
2 時 限	○受験者着席・係員入室 ・試験に関する注意	1 2 時 3 0 分	民法（記述式） 刑法（記述式）
	試験問題等の配布	1 2 時 3 5 分	
	○試験開始	1 2 時 4 5 分	
	試験終了 1 5 分前の予告	1 4 時 3 0 分	
	○試験終了	1 4 時 4 5 分	

(注)

- 1 平成△年△月△日（△）には，試験日を記入する。
- 2 □には，実施年度の試験の略称の数字を記入する。
- 3 ○は，振鈴等による時刻の合図を示す。

## 1 受付係の事務

- (1) 受付開始の前に、事務室係から受験者名簿及び再発行用の第2次試験筆記試験受験票用紙を受領する。
- (2) 受付は、午前9時20分から行うが、実施機関の実情に応じて適宜早めることは差し支えない。
- (3) 出頭した受験者の第2次試験筆記試験受験票を確認し、受験心得「受験者の皆さんへ」を交付した上、その者に所定の試験室に入るよう指示する。受験心得「受験者の皆さんへ」については、受付において受験者に交付する方法のほか、実施機関の実情に応じて適宜の方法により配布することは差し支えない。ただし、受付において交付しない場合は、1時限の受験者着席の時刻までに配布を完了する。
- (4) 第2次試験筆記試験受験票を持参しなかった者については、受験者名簿により氏名及び受験番号を確認した上、再発行用の第2次試験筆記試験受験票用紙に所要事項を記入し、その右肩に朱書きで「再」と表示した第2次試験筆記試験受験票を交付する。
- (5) 出頭した受験者から、面接カード及び勤務希望地等調査票を回収し、事務室係に交付する。
- (6) 面接カード及び勤務希望地等調査票を持参しなかった者については、第2次試験筆記試験終了後速やかに面接カード及び勤務希望地等調査票を第2次試験人物試験実施機関に提出するよう指示する。
- (7) 1時限の試験開始後30分以内に到着した者については、(3)から(6)までに定める手続により受け付け、予備室に入るよう指示し、直ちにその者の氏名及び受験番号を所定の試験室の試験官及び事務室係に連絡する。
- (8) 1時限の試験開始後30分を過ぎて到着した者については、受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。
- (9) 試験開始後は、試験室の周囲が騒がしくならないように注意する。

新聞記者等が試験場内に入ることを希望したときは、首席試験官の指示により、試験に影響のない限り、許可して差し支えない。

## 2 時計系の事務

- (1) 正確な時計を用意し、午前9時20分までに、他の係員に各自の時計を調整させる。
- (2) 時間割に定められた時刻に振鈴、ベル、口頭等で合図する。
- (3) 試験時間中は、事務室に待機し、適宜事務室と各試験室との連絡に当たる。

## 3 試験官及び試験室係の事務

- (1) 試験官は、試験室の正面中央に位置し、できるだけその位置を離れない。
- (2) 試験の開始及び終了の宣言は、合図（振鈴等）がありしだい直ちに行う（振鈴等の鳴り始めた時でよい。）。
- (3) 受験者の質問に対しては、試験官が応答する。回答は、全受験者に聞こえるようにする。

なお、試験問題の内容に関する質問については、次のとおり回答する。

「問題の内容にわたる事項ですから、お答えできません。問題に記載してある字句のままよく考えて解答してください。」

- (4) 試験官は、単独で決定できないことが起きたときは、係員を通じて、速やかに首席試験官の指示を受ける。このとき、試験官は、できるだけ試験室を離れないようにし、やむを得ず試験官が試験室を離れる場合であっても、必ず試験室係員のうち少なくとも1人が試験室に残るようにする。
- (5) 試験官は、身代わり受験等の不正行為をした者を発見したときは、直ちに首席試験官に報告し、首席試験官において不正行為と認めたときは、不正行為者に対して失格である旨を告げて試験席から退出させる。退出させる際には、第2次試験筆記試験受験票、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案及び草稿用紙を回収し、第2次試験筆記試験受験票及び答案に「不正」と朱書する。また、不正行為者を試験席から退出させた後、試験場の外へ退出させる

のは、1時限の試験開始後30分を経過した後とする。

なお、2時限目以降に不正行為が発見されたときは、必要に応じて前の時限の試験問題の回収に努める。

首席試験官は、不正行為の概要を速やかに高等裁判所を通じて人事局任用課試験第二係まで連絡するとともに、可能な限り不正行為者から事情を聴くなどして、不正行為に関する事実関係の把握に努める。

- (6) 試験官は、棄権者及び答案作成完了者の退室を認める。ただし、1時限の試験開始後30分間及び各時限終了前の15分間については退室を認めない。

なお、退室させる場合は、係員に次の作業をさせる。

ア 退室させる前に、棄権者及び答案作成完了者の答案、試験問題、正誤表、草稿用紙及び試験用六法を回収させる。その際、試験問題の切取り等がないか十分に確認させる。棄権者の答案には「キケン」と記載させる。

イ 当該時限終了後に、答案作成完了者に対し、回収した試験問題、正誤表及び草稿用紙を交付させる。

- (7) 1時限の試験開始後30分以内に到着した者については、人事局任用課試験第二係から別途指示する場合を除き、試験時間の延長を認めない。

なお、延長の必要性について疑義がある場合は、人事局任用課試験第二係に照会する。

- (8) 係員は、答案用紙の追加請求があったときは、これを交付する。

- (9) 試験官は、2時限及び3時限の試験開始時刻に遅れた者については、受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。

- (10) 係員は、試験中随時受験者の間を回り、不正行為があるかどうかを監視する。

- (11) 受験者から時刻を聞かれたときは、その都度教えて差し支えない。

- (12) 受験者をトイレ等の理由で一時途中退室させる場合、係員は、受験者が自席を離れる際に、受験者が通信機器を携帯していないことを確認する。

- (13) 試験終了後、氏名又は住所に変更のあった受験者からその旨の届出を受け付

ける。この場合には、第1次試験受験票の写真の下部余白に変更後の氏名又は住所を朱書する。

(14) その他各時限ごとの事務は、別紙のとおりとする。

#### 4 事務室係の事務

- (1) 受付開始の10分前までに、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案用紙、試験用六法、受験者名簿、再発行用の第2次試験筆記試験受験票用紙、草稿用紙、通信機器を入れる封筒、第1次試験受験票、実施報告書用紙及び事務用品を事務室に搬入する。
- (2) 試験時刻等の告知にベルを使用する試験場は、故障に備えて、あらかじめ他の方法を考慮する。
- (3) 受付開始の前に、受験者名簿及び再発行用の第2次試験筆記試験受験票用紙を受付係に交付する。
- (4) 各時限の試験室係員の入室前に、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案用紙、試験用六法（1時限を除く。）、草稿用紙、通信機器を入れる封筒、第1次試験受験票、実施報告書用紙及び事務用品を試験官に交付する。その際、事務室で待機する首席試験官は、正誤表の有無を試験官に告げる。
- (5) 遅刻した者の第1次試験受験票をその者の所定の試験室係員から受領し、予備室の試験官に交付する。
- (6) 面接カード及び勤務希望地等調査票を受付係から受領する。
- (7) 試験終了後、各試験室からの答案等について、実施報告書の記入事項と一致しているかどうか及び答案の所定の欄に所要事項が漏れなく記入されているかどうかを厳重に点検の上、受領する。
- (8) 次の表の「品目」に掲げるものを同表の「整理方法」に定める方法により、全科目の終了後それぞれ速やかに整理する。

品 目	整 理 方 法
-----	---------



有効答案		試験の種類別，科目別，受験番号順
無効答案	不正行為	同上
	棄権	同上
第1次試験受験票		有効及び無効の別，試験の種類別，受験番号順
未使用試験問題		適宜
未使用答案用紙		同上
実施報告書		試験の種類別，科目別
面接カード		有効及び無効の別，試験の種類別，受験番号順
勤務希望地等調査票		有効及び無効の別，試験の種類別，受験番号順

(別紙)

1 時限 第2次試験政策論文試験 (記述式)

時刻	事務内容	発言内容
9:20 まで	1 時計係と時計の調整をする。 2 各担当試験室の整備をする。	(発言は、試験官が行う。)
9:40 まで	事務室で試験問題、正誤表(配布する場合に限る。)、答案用紙、草稿用紙、通信機器を入れる封筒、第1次試験受験票、実施報告書用紙及び事務用品を受領し、試験室に入る。 受領の際、首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。	
9:40	1 受験者の入室完了を確認する。 2 受付手続の確認 3 第2次試験筆記試験受験票及び「受験者の皆さんへ」の所持の有無の確認 4 机に表示してある受験番号の確認及び第2次試験筆記試験受験票に関する注意 5 通信機器を利用した不正行為防止のための注意 (注) ①～⑤の順に、受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。	受付を済ませていない人はいませんか。いましたら手を挙げてください。 受験票及び「受験者の皆さんへ」を持っていない人はいませんか。いましたら手を挙げてください。 自分の受験番号と着席した机に表示してある受験番号とが一致しているかどうかを確認してください。 ① 携帯電話等の通信機器を持っている人は、全ての通信機器を机の上に出してください。 ② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。 ③ 電源が切れていることの確認ができた人は、全ての通信機器をかばん等の中にしまい、かばん等は、必ず自分の足下に置いてください。 ④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。 (挙手した者がいた場合、封筒を交付し、以下のとおり発言する。 今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を

	<p>6 10時30分までの間に、第1次試験受験票の写真による本人確認を行う。</p> <p>(注) 確認は試験開始後に始めてもよい。</p> <p>7 試験に関する注意の告知</p> <p>(1) 試験中の行動についての注意</p> <p>(2) 棄権及び退室の際の注意</p>	<p>記載し、通信機器を入れた上で、係員に預けてください。預かった通信機器はこの期限の試験終了後に返却しますので、係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。)</p> <p>⑤ 試験時間中、通信機器を、衣類のポケットなど、かばん等の外に携帯していた場合は、その使用の有無にかかわらず、不正行為とみなし、失格者として扱いますので、注意してください。</p> <p>ただいまから、本日の試験についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>机の上には、黒のペン又はボールペン及び時計のほかは、置いてはいけません。受験票及び配布した「受験者の皆さんへ」と題する書面もかばん等にしまってください。下敷きの使用は認めません。</p> <p>なお、筆記用具については、消しゴムなどでインクを容易に消すことができるものの使用は認めませんので、この試験で使用できる筆記用具を持ち合わせていない人は、ここで係員に申し出てください。</p> <p>試験中の喫煙、飲食は認めません。試験中に他の受験者と話をしたり、こちらから配布したもの以外のものを見たり、その他不正な行為をしたりした人は、失格者として退室してもらいますので、絶対にしないでください。</p> <p>試験中疑問のある人又はトイレに行きたい人は、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。</p> <p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き</p>
--	--	---

<p>9:50</p>	<p>8 試験時間の確認</p> <p>9 次の試験に関する注意</p> <p>1 答案用紙、草稿用紙、試験問題及び正誤表（配布する場合に限る。）の配布</p> <p>(1) 試験問題の包みは、配布直前に開封する。</p> <p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p> <p>(3) 欠席者の席には配布しない。</p> <p>(4) 配布終了後、直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p> <p>2 受験科目名、試験地、受験番号及び氏名の記入の指示</p>	<p>、黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また、試験終了時刻前に退室したい人も、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、1時限の試験開始から30分間及び各時限の試験終了前の15分間は、退室を認めません。</p> <p>なお、特例申込者が本日の試験を棄権した場合には、一般職試験（大卒程度試験）の受験者としての取扱いを受けられませんから、注意してください。</p> <p>1時限の政策論文試験の試験時間は、10時から11時30分までの1時間30分です。</p> <p>次の試験は、12時45分から開始します。12時30分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、受験できません。</p> <p>これから答案用紙1枚、草稿用紙1枚、試験問題集1部（、正誤表1部）を配りますが、試験問題集（及び正誤表）は、開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙は、試験終了後、持ち帰ってください。</p> <p>ただし、途中退室する場合は、係員が答案とともに試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙を一旦回収し、●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので、注意してください。</p> <p>なお、棄権により途中退出する場合は、試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙の持ち帰りは認めません。</p> <p>(注) ●は11時30分以降の適宜の時刻を、■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>それでは、試験問題集の記入例を参考に、答案用紙に「受験科目」、「試験地」、「受験番号」及び「氏名」を記入してください。「試験名」欄には何も記入しないでください</p>
-------------	--	--

	<p>3 答案用紙，草稿用紙の追加配布</p> <p>4 受験上の注意事項についての質疑 応答 (注)遅くとも試験開始の2分前には ，この発言をする。</p>	<p>。また，試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>なお，答案用紙，草稿用紙が不足したときは，手を挙げて係員に申し出てください。</p> <p>試験問題集の表紙の注意事項を声を出さずに読んでください。注意事項について疑問のある人は，手を挙げて質問してください。</p> <p>読み終わりましたら，開始の合図があるまでの間，答案用紙に記入した受験番号などが間違っていないか，よく点検してください。</p>
10:00	<p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁，乱丁等のある試験問題の交換</p> <p>3 係員は，欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p>	<p>始めてください。</p> <p>(試験問題の内容について，一部訂正がありますので，正誤表を参照してください。)</p> <p>もし，落丁，乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら，交換しますから，黙ったまま手を挙げてください。</p>
11:15	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま，試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は，答案の提出を認めません。</p>
11:30	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて，試験問題集を閉じてください。</p> <p>もう一度受験科目，試験地，受験番号，氏名に記入漏れや，間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には，これから係員が答案を回収しますので，その際に申し出た上，訂正してください。</p> <p>答案を係員が回収しますから，着席したまま静かにお待ちください。</p> <p>なお，試験問題集(，正誤表)及び草稿用紙は，持ち帰ってください。</p> <p>(注)追加で答案用紙を配布したときは，これに続けて次のことを告げる。</p> <p>「追加で答案用紙を使用したときは</p>

	<p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収する。追加で答案用紙を使用した者の答案は、ステープラーで左側の上部及び中央部の2箇所をとじた上、右側の上部に付箋を貼る。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 2時限に行われる試験についての注意及び退室の指示</p> <p>6 試験官は、回収した答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	<p>、回収の際、係員に申し出てください。』</p> <p>次の試験は、12時30分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、試験を受けられません。これで政策論文試験を終わります。</p> <p>(予備室)</p> <p>また、午後の試験は、この試験室ではなく、所定の試験室で受験してください。</p>
--	--	---

2 時限 第 2 次試験専門試験（民法及び刑法）（記述式）

時刻	事務内容	発言内容
12:30 まで	<p>事務室で試験問題，正誤表（配布する場合に限る。），答案用紙，試験用六法，草稿用紙，通信機器を入れる封筒，第 1 次試験受験票，実施報告書用紙及び事務用品を受領し，試験室に入る。</p> <p>受領の際，首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。</p>	
12:30	<p>1 受験者の入室完了を確認する。</p> <p>2 通信機器を利用した不正行為防止のための注意                      （注）①～⑤の順に，受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。</p> <p>3 第 1 次試験受験票の写真による</p>	<p>① 携帯電話等の通信機器を持っている人は，全ての通信機器を机の上に出してください。</p> <p>② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。</p> <p>③ 電源が切れていることの確認ができた人は，全ての通信機器をかばん等の中にしまい，かばん等は，必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。                      （挙手した者がいた場合，封筒を交付し，以下のとおり発言する。                      今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し，通信機器を入れた上で，係員に預けてください。預かった通信機器はこの時限の試験終了後に返却しますので，係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。）</p> <p>⑤ 試験時間中，通信機器を，衣類のポケットなど，かばん等の外に携帯していた場合は，その使用の有無にかかわらず，不正行為とみなし，失格者として扱いますので，注意してください。</p>

	<p>本人確認を行う。  (注) 確認は試験開始後に始めてもよい。</p> <p>4 試験に関する注意の告知</p> <p>5 棄権及び退室の際の注意</p> <p>6 試験時間の確認</p> <p>7 第2次試験の合格者発表の期日の連絡等  【B Xの受験者に対して発言】</p>	<p>ただいまから、専門試験（民法及び刑法）についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>机の上には、黒のペン又はボールペン及び時計のほかは、置いてはいけません。下敷きの使用は認めません。</p> <p>六法については、後ほど配布するもののみ使用を認めます。</p> <p>なお、筆記用具については、消しゴムなどでインクを容易に消すことができるものの使用は認めませんので、この試験で使用できる筆記用具を持ち合わせていない人は、ここで係員に申し出てください。</p> <p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き、黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また、試験終了時刻前に退室したい人も、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験終了前の15分間は、退室を認めません。退室するときは、試験用六法は係員に返却してください。</p> <p>なお、特例申込者が本日の試験を棄権した場合には、一般職試験（大卒程度試験）の受験者としての取扱いを受けられませんから、注意してください。</p> <p>2時限の専門試験（民法及び刑法）の試験時間は、12時45分から14時45分までの2時間です。</p> <p>【B Xの受験者に対し】</p> <p>大卒程度試験受験者は、この試験で本日の試験は終わりますから、試験終了後、忘れ物のないようお帰りください。</p> <p>第2次試験の合格発表日は、△月△日（△）です。合格発表に関しては、試験開始前に配布した「受験者の皆さんへ」という書面に記載してありますので、後で参照してください</p>
--	---	--



<p>12:35</p>	<p>8 氏名、住所等の変更の届出の指示 【B Xの受験者に対して発言】</p> <p>9 次の試験に関する注意 【A Xの受験者に対して発言】</p> <p>1 答案用紙、草稿用紙、試験用六法、試験問題及び正誤表（配布する場合に限る。）の配布 (1) 試験問題の包みは、配布直前に開封する。 (2) 正誤表は裏返しに配布する。 (3) 欠席者の席には配布しない。 (4) 配布終了後、直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p> <p>2 受験科目名、試験地、受験番号及び氏名の記入の指示</p>	<p>い。 (注) △は第2次試験合格者発表日を記入する。 なお、人物試験は、人物試験受験票に記載された期日に別途実施されます。 【B Xの受験者に対し】 大卒程度試験受験者で、先日の第1次試験後に氏名、住所等に変更のある人は、試験終了後、試験室を退出する前に係員に届け出てください。 【A Xの受験者に対し】 院卒者試験の訴訟法の試験は、15時25分から開始します。15時10分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、受験できません。  これから答案用紙2枚、草稿用紙2枚、試験用六法、試験問題集1部（、正誤表1部）を配りますが、試験用六法、試験問題集（及び正誤表）は、開始の合図があるまで開いてはいけません。 試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙は、試験終了後、持ち帰ってください。 ただし、途中退室する場合は、係員が答案とともに試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙を一旦回収し、●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので、注意してください。 なお、棄権により途中退出する場合は、試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙の持ち帰りは認めません。 配布する試験用六法には、文字や線などの書き込みを絶対にしないでください。 (注) ●は14時45分以降の適宜の時刻を、■は適宜の交付場所を記入する。 それでは、試験問題集の記入例を参考に、各答案用紙に「受験科目」、「試験地」、「</p>
--------------	--	--

<p>12:45</p>	<p>3 答案用紙，草稿用紙の追加配布</p> <p>4 受験上の注意事項についての質疑応答 (注)遅くとも試験開始の2分前には，この発言をする。</p> <p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁，乱丁等のある試験問題の交換</p> <p>3 係員は，欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p> <p>4 途中退出は，写真による本人確認終了後に許可する。</p>	<p>受験番号」及び「氏名」を記入してください。「試験名」欄には何も記入しないでください。答案は各科目ごとに作成してください。また，試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>なお，答案用紙，草稿用紙が不足したときは，手を挙げて係員に申し出てください。</p> <p>試験問題集の表紙の注意事項を声を出さずに読んでください。注意事項について疑問のある人は，手を挙げて質問してください。</p> <p>読み終わりましたら，開始の合図があるまでの間，答案用紙に記入した受験番号などが間違っていないか，よく点検してください。</p> <p>始めてください。</p> <p>(試験問題の内容について，一部訂正がありますので，正誤表を参照してください。)</p> <p>もし，落丁，乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら，交換しますから，黙ったまま手を挙げてください。</p>
<p>14:30</p>	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま，試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は，答案の提出を認めません。</p>
<p>14:45</p>	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意 答案は科目ごとに回収して差し支</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて，試験問題集を閉じてください。</p> <p>もう一度受験科目，試験地，受験番号，氏名に記入漏れや，間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には，これから係員が答案を回収しますので，その際に申し出た上，訂正してください。</p> <p>刑法の答案の上に民法の答案を重ねて机の上に置いてください。係員が答案及び試験用</p>

	<p>えない。</p> <p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収する。追加で答案用紙を使用した者の答案は、ステープラーで左側の上部及び中央部の2箇所をとじた上、右側の上部に付箋を貼る。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 退室等の指示又は3時限に行われる試験についての注意及び退室等の指示</p> <p>6 試験官は、回収した答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別、科目別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試</p>	<p>六法を回収しますから、着席したまま静かにお待ちください。</p> <p>なお、試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙は、持ち帰ってください。</p> <p>（注）追加で答案用紙を配布したときは、これに続けて次のことを告げる。</p> <p>「追加で答案用紙を使用したときは、回収の際、係員に申し出てください。」</p> <p>【B Xの受験者に対し】</p> <p>大卒程度試験受験者は、これで本日の試験を終わります。お疲れさまでした。</p> <p>【A Xの受験者に対し】</p> <p>院卒者試験受験者には、15時10分に次の試験の着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、試験を受けられません。これで専門試験（民法及び刑法）を終わります。</p>
--	--	---

	験問題とともに事務室係に引き継ぐ。	
--	-------------------	--

3 時限 第 2 次試験専門試験（民事訴訟法又は刑事訴訟法）（記述式）【A X の受験者に限る。】

時 刻	事 務 内 容	発 言 内 容
15:10 まで	<p>事務室で試験問題，正誤表（配布する場合に限る。），答案用紙，試験用六法，草稿用紙，通信機器を入れる封筒，第 1 次試験受験票，実施報告書用紙及び事務用品を受領し，試験室に入る。</p> <p>受領の際，首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。</p>	
15:10	<p>1 受験者の入室完了を確認する。</p> <p>2 通信機器を利用した不正行為防止のための注意 （注）①～⑤の順に，受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。</p> <p>3 第 1 次試験受験票の写真による</p>	<p>① 携帯電話等の通信機器を持っている人は，全ての通信機器を机の上に出してください。</p> <p>② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。</p> <p>③ 電源が切れていることの確認ができた人は，全ての通信機器をかばん等の中にしまい，かばん等は，必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。 （挙手した者がいた場合，封筒を交付し，以下のとおり発言する。 今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し，通信機器を入れた上で，係員に預けてください。預かった通信機器はこの時限の試験終了後に返却しますので，係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。）</p> <p>⑤ 試験時間中，通信機器を，衣類のポケットなど，かばん等の外に携帯していた場合は，その使用の有無にかかわらず，不正行為とみなし，失格者として扱いますので，注意してください。</p>



15:15	<p>8 氏名、住所等の変更の届出の指示</p> <p>1 答案用紙、草稿用紙、試験用六法、試験問題及び正誤表（配布する場合に限る。）の配布</p> <p>(1) 試験問題の包みは、配布直前に開封する。</p> <p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p> <p>(3) 欠席者の席には配布しない。</p> <p>(4) 配布終了後、直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p> <p>2 受験科目名、試験地、受験番号及び氏名の記入の指示</p> <p>3 答案用紙、草稿用紙の追加配布</p>	<p>い。</p> <p>(注) △は第2次試験合格者発表日を記入する。</p> <p>なお、人物試験は、人物試験受験票に記載された期日に別途実施されます。</p> <p>先日の第1次試験後に氏名、住所等に変更のある人は、試験終了後、試験室を退出する前に係員に届け出てください。</p> <p>これから答案用紙1枚、草稿用紙1枚、試験用六法、試験問題集1部（、正誤表1部）を配りますが、試験用六法、試験問題集（及び正誤表）は、開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙は、試験終了後、持ち帰ってください。</p> <p>ただし、途中退室する場合は、係員が答案とともに試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙を一旦回収し、●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので、注意してください。</p> <p>なお、棄権により途中退出する場合は、試験問題集（、正誤表）及び草稿用紙の持ち帰りは認めません。</p> <p>配布する試験用六法には、文字や線などの書き込みを絶対にしないでください。</p> <p>(注) ●は16時25分以降の適宜の時刻を、■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>それでは、試験問題集の記入例を参考に、答案用紙に「試験地」、「受験番号」及び「氏名」を記入してください。「試験名」欄には何も記入しないでください。「受験科目」欄は、試験開始後に、解答した科目名を記入してください。また、試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>なお、答案用紙、草稿用紙が不足したときは、手を挙げて係員に申し出てください。</p>
-------	--	---

	<p>4 受験上の注意事項についての質疑 応答 (注)遅くとも試験開始の2分前には 、この発言をする。</p>	<p>試験問題集の表紙の注意事項を声を出さず に読んでください。注意事項について疑問の ある人は、手を挙げて質問してください。 読み終わりましたら、開始の合図があるま での間、答案用紙に記入した受験番号などが 間違っていないか、よく点検してください。</p>
15:25	<p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁、乱丁等のある試験問題の交 換</p> <p>3 係員は、欠席者の受験番号を事務 室係に連絡する。</p> <p>4 途中退出は、写真による本人確認 終了後に許可する。</p>	<p>始めてください。 (試験問題の内容について、一部訂正があ りますので、正誤表を参照してください。) もし、落丁、乱丁その他印刷のはっきりし ないものがありましたら、交換しますから、 黙ったまま手を挙げてください。</p>
16:10	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま、試験終了時刻の15分前です。こ れからの15分間は、答案の提出を認めませ ん。</p>
16:25	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて、試験 問題集を閉じてください。 もう一度受験科目、試験地、受験番号、氏 名に記入漏れや、間違いがないかをよく確認 してください。間違いがある場合には、これ から係員が答案を回収しますので、その際に 申し出た上、訂正してください。 係員が答案及び試験用六法を回収しますか ら、着席したまま静かにお待ちください。 なお、試験問題集(、正誤表)及び草稿 用紙は、持ち帰ってください。 (注)追加で答案用紙を配布したときは、 これに続けて次のことを告げる。 「追加で答案用紙を使用したときは 、回収の際、係員に申し出てくださ い。」</p>



	<p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収する。追加で答案用紙を使用した者の答案は、ステープラーで左側の上部及び中央部の2箇所をとじた上、右側の上部に付箋を貼る。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 退室等の指示</p> <p>6 試験官は、回収した答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を科目別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	<p>これで本日の試験を終わります。お疲れさまでした。</p>
--	--	---------------------------------

(別紙様式第5)

AY及びBY第2次試験政策論文試験及び専門試験実施要領書

最高裁判所事務総局人事局

この実施要領書は、AY及びBYの第2次試験政策論文試験及び専門試験を全国的に統一して公正かつ平等に実施するために定められたものである。

試験の実施に当たっては、全てこの要領書に定めるところによるものとする。

平成△年△月△日（△）

A Y-□及びB Y-□第2次試験政策論文試験及び専門試験時間割

事 項		時 刻	試験の内容
1 時 限	受付開始	9時20分	政策論文試験（記述式）
	○受験者着席・係員入室	9時40分	
	・試験に関する注意		
	試験問題等の配布	9時50分	
	○試験開始	10時00分	
	試験終了15分前の予告	11時15分	
	○試験終了	11時30分	
（昼 食）			
2 時 限	○受験者着席・係員入室	12時30分	専門試験（記述式）
	・試験に関する注意		
	試験問題等の配布	12時35分	
	○試験開始	12時45分	
	試験終了15分前の予告	14時30分	
	○試験終了	14時45分	

（注）

- 1 平成△年△月△日（△）には，試験日を記入する。
- 2 □には，実施年度の試験の略称の数字を記入する。
- 3 ○は，振鈴等による時刻の合図を示す。

## 1 受付係の事務

- (1) 受付開始の前に、事務室係から受験者名簿及び再発行用の第2次試験筆記試験受験票用紙を受領する。
- (2) 受付は、午前9時20分から行うが、実施機関の実情に応じて適宜早めることは差し支えない。
- (3) 出頭した受験者の第2次試験筆記試験受験票を確認し、受験心得「受験者の皆さんへ」を交付した上、その者に所定の試験室に入るよう指示する。受験心得「受験者の皆さんへ」については、受付において受験者に交付する方法のほか、実施機関の実情に応じて適宜の方法により配布することは差し支えない。ただし、受付において交付しない場合は、1時限の受験者着席の時刻までに配布を完了する。
- (4) 第2次試験筆記試験受験票を持参しなかった者については、受験者名簿により氏名及び受験番号を確認した上、再発行用の第2次試験筆記試験受験票用紙に所要事項を記入し、その右肩に朱書きで「再」と表示した第2次試験筆記試験受験票を交付する。
- (5) 出頭した受験者から、面接カード及び勤務希望地等調査票を回収し、事務室係に交付する。
- (6) 面接カード及び勤務希望地等調査票を持参しなかった者については、第2次試験筆記試験終了後速やかに面接カード及び勤務希望地等調査票を第2次試験人物試験実施機関に提出するよう指示する。
- (7) 1時限の試験開始後30分以内に到着した者については、(3)から(6)までに定める手続により受け付け、予備室に入るよう指示し、直ちにその者の氏名及び受験番号を所定の試験室の試験官及び事務室係に連絡する。
- (8) 1時限の試験開始後30分を過ぎて到着した者については、受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。
- (9) 試験開始後は、試験室の周囲が騒がしくならないように注意する。

新聞記者等が試験場内に入ることを希望したときは、首席試験官の指示により、試験に影響のない限り、許可して差し支えない。

## 2 時計系の事務

- (1) 正確な時計を用意し、午前9時20分までに、他の係員に各自の時計を調整させる。
- (2) 時間割に定められた時刻に振鈴、ベル、口頭等で合図する。
- (3) 試験時間中は、事務室に待機し、適宜事務室と各試験室との連絡に当たる。

## 3 試験官及び試験室係の事務

- (1) 試験官は、試験室の正面中央に位置し、できるだけその位置を離れない。
- (2) 試験の開始及び終了の宣言は、合図（振鈴等）がありしだい直ちに行う（振鈴等の鳴り始めた時でよい。）。
- (3) 受験者の質問に対しては、試験官が応答する。回答は、全受験者に聞こえるようにする。

なお、試験問題の内容に関する質問については、次のとおり回答する。

「問題の内容にわたる事項ですから、お答えできません。問題に記載してある字句のままよく考えて解答してください。」

- (4) 試験官は、単独で決定できないことが起きたときは、係員を通じて、速やかに首席試験官の指示を受ける。このとき、試験官は、できるだけ試験室を離れないようにし、やむを得ず試験官が試験室を離れる場合であっても、必ず試験室係員のうち少なくとも1人が試験室に残るようにする。
- (5) 試験官は、身代わり受験等の不正行為をした者を発見したときは、直ちに首席試験官に報告し、首席試験官において不正行為と認めたときは、不正行為者に対して失格である旨を告げて試験席から退出させる。退出させる際には、第2次試験筆記試験受験票、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案及び草稿用紙を回収し、第2次試験筆記試験受験票及び答案に「不正」と朱書する。また、不正行為者を試験席から退出させた後、試験場の外へ退出させる

のは、1時限の試験開始後30分を経過した後とする。

なお、2時限目に不正行為が発見されたときは、必要に応じて1時限の試験問題の回収に努める。

首席試験官は、不正行為の概要を速やかに高等裁判所を通じて人事局任用課試験第二係まで連絡するとともに、可能な限り不正行為者から事情を聴くなどして、不正行為に関する事実関係の把握に努める。

- (6) 試験官は、棄権者及び答案作成完了者の退室を認める。ただし、1時限の試験開始後30分間及び各時限終了前の15分間については退室を認めない。

なお、退室させる場合は、係員に次の作業をさせる。

ア 退室させる前に、棄権者及び答案作成完了者の答案、試験問題、正誤表、草稿用紙及び試験用六法を回収させる。その際、試験問題の切取り等がないか十分に確認させる。棄権者の答案には「キケン」と記載させる。

イ 当該時限終了後に、答案作成完了者に対し、回収した試験問題、正誤表及び草稿用紙を交付させる。

- (7) 1時限の試験開始後30分以内に到着した者については、人事局任用課試験第二係から別途指示する場合を除き、試験時間の延長を認めない。

なお、延長の必要性について疑義がある場合は、人事局任用課試験第二係に照会する。

- (8) 係員は、答案用紙の追加請求があったときは、これを交付する。

- (9) 試験官は、2時限の試験開始時刻に遅れた者については、受験を認めない旨を告げて、試験場から退出させる。

- (10) 係員は、試験中随時受験者の間を回り、不正行為があるかどうかを監視する。

- (11) 受験者から時刻を聞かれたときは、その都度教えて差し支えない。

- (12) 受験者をトイレ等の理由で一時途中退室させる場合、係員は、受験者が自席を離れる際に、受験者が通信機器を携帯していないことを確認する。

- (13) 試験終了後、氏名又は住所に変更のあった受験者からその旨の届出を受け付

ける。この場合には、第1次試験受験票の写真の下部余白に変更後の氏名又は住所を朱書する。

(14) その他各時限ごとの事務は、別紙のとおりとする。

#### 4 事務室係の事務

- (1) 受付開始の10分前までに、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案用紙、試験用六法、受験者名簿、再発行用の第2次試験筆記試験受験票用紙、草稿用紙、通信機器を入れる封筒、第1次試験受験票、実施報告書用紙及び事務用品を事務室に搬入する。
- (2) 試験時刻等の告知にベルを使用する試験場は、故障に備えて、あらかじめ他の方法を考慮する。
- (3) 受付開始の前に、受験者名簿及び再発行用の第2次試験筆記試験受験票用紙を受付係に交付する。
- (4) 各時限の試験室係員の入室前に、試験問題、正誤表（配布する場合に限る。）、答案用紙、試験用六法（1時限を除く。）、草稿用紙、通信機器を入れる封筒、第1次試験受験票、実施報告書用紙及び事務用品を試験官に交付する。その際、事務室で待機する首席試験官は、正誤表の有無を試験官に告げる。
- (5) 遅刻した者の第1次試験受験票をその者の所定の試験室係員から受領し、予備室の試験官に交付する。
- (6) 面接カード及び勤務希望地等調査票を受付係から受領する。
- (7) 試験終了後、各試験室からの答案等について、実施報告書の記入事項と一致しているかどうか及び答案の所定の欄に所要事項が漏れなく記入されているかどうかを厳重に点検の上、受領する。
- (8) 次の表の「品目」に掲げるものを同表の「整理方法」に定める方法により、全科目の終了後それぞれ速やかに整理する。

品 目	整 理 方 法
-----	---------



有効答案		試験の種類別，科目別，受験番号順
無効答案	不正行為	同上
	棄権	同上
第1次試験受験票		有効及び無効の別，試験の種類別，受験番号順
未使用試験問題		適宜
未使用答案用紙		同上
実施報告書		試験の種類別，科目別
面接カード		有効及び無効の別，試験の種類別，受験番号順
勤務希望地等調査票		有効及び無効の別，試験の種類別，受験番号順

(別紙)

1 時限 第2次試験政策論文試験 (記述式)

時刻	事務内容	発言内容
9:20 まで	1 時計係と時計の調整をする。 2 各担当試験室の整備をする。	(発言は、試験官が行う。)
9:40 まで	事務室で試験問題、正誤表(配布する場合に限る。)、答案用紙、草稿用紙、通信機器を入れる封筒、第1次試験受験票、実施報告書用紙及び事務用品を受領し、試験室に入る。 受領の際、首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。	
9:40	1 受験者の入室完了を確認する。 2 受付手続の確認 3 第2次試験筆記試験受験票及び「受験者の皆さんへ」の所持の有無の確認 4 机に表示してある受験番号の確認及び第2次試験筆記試験受験票に関する注意 5 通信機器を利用した不正行為防止のための注意 (注) ①～⑤の順に、受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。	受付を済ませていない人はいませんか。いましたら手を挙げてください。 受験票及び「受験者の皆さんへ」を持っていない人はいませんか。いましたら手を挙げてください。 自分の受験番号と着席した机に表示してある受験番号とが一致しているかどうかを確認してください。 ① 携帯電話等の通信機器を持っている人は、全ての通信機器を机の上に出してください。 ② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。 ③ 電源が切れていることの確認ができた人は、全ての通信機器をかばん等の中にしまい、かばん等は、必ず自分の足下に置いてください。 ④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。 (挙手した者がいた場合、封筒を交付し、以下のとおり発言する。 今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を

	<p>6 10時30分までの間に、第1次試験受験票の写真による本人確認を行う。</p> <p>(注) 確認は試験開始後に始めてもよい。</p> <p>7 試験に関する注意の告知</p> <p>(1) 試験中の行動についての注意</p> <p>(2) 棄権及び退室の際の注意</p>	<p>記載し、通信機器を入れた上で、係員に預けてください。預かった通信機器はこの期限の試験終了後に返却しますので、係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。)</p> <p>⑤ 試験時間中、通信機器を、衣類のポケットなど、かばん等の外に携帯していた場合は、その使用の有無にかかわらず、不正行為とみなし、失格者として扱いますので、注意してください。</p> <p>ただいまから、本日の試験についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>机の上には、黒のペン又はボールペン及び時計のほかは、置いてはいけません。受験票及び配布した「受験者の皆さんへ」と題する書面もかばん等にしまってください。下敷きの使用は認めません。</p> <p>なお、筆記用具については、消しゴムなどでインクを容易に消すことができるものの使用は認めませんので、この試験で使用できる筆記用具を持ち合わせていない人は、ここで係員に申し出てください。</p> <p>試験中の喫煙、飲食は認めません。試験中に他の受験者と話をしたり、こちらから配布したもの以外のものを見たり、その他不正な行為をしたりした人は、失格者として退室してもらいますので、絶対にしないでください。</p> <p>試験中疑問のある人又はトイレに行きたい人は、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。</p> <p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き</p>
--	--	---

<p>9:50</p>	<p>8 試験時間の確認</p> <p>9 次の試験に関する注意</p> <p>1 答案用紙，草稿用紙，試験問題及び正誤表（配布する場合に限る。）の配布</p> <p>(1) 試験問題の包みは，配布直前に開封する。</p> <p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p> <p>(3) 欠席者の席には配布しない。</p> <p>(4) 配布終了後，直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p> <p>2 受験科目名，試験地，受験番号及び氏名の記入の指示</p> <p>3 答案用紙，草稿用紙の追加配布</p>	<p>，黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また，試験終了時刻前に退室したい人も，黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし，1時限の試験開始から30分間及び各時限の試験終了前の15分間は，退室を認めません。</p> <p>1時限の政策論文試験の試験時間は，10時から11時30分までの1時間30分です。</p> <p>次の試験は，12時45分から開始します。12時30分に着席の合図をしますから，遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると，受験できません。</p> <p>これから答案用紙1枚，草稿用紙1枚，試験問題集1部（，正誤表1部）を配りますが，試験問題集（及び正誤表）は，開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>試験問題集（，正誤表）及び草稿用紙は，試験終了後，持ち帰ってください。</p> <p>ただし，途中退室する場合は，係員が答案とともに試験問題集（，正誤表）及び草稿用紙を一旦回収し，●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので，注意してください。</p> <p>なお，棄権により途中退出する場合は，試験問題集（，正誤表）及び草稿用紙の持ち帰りは認めません。</p> <p>(注) ●は11時30分以降の適宜の時刻を，■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>それでは，試験問題集の記入例を参考に，答案用紙に「受験科目」，「試験地」，「受験番号」及び「氏名」を記入してください。「試験名」欄には何も記入しないでください。また，試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>なお，答案用紙，草稿用紙が不足したときは，手を挙げて係員に申し出てください。</p>
-------------	--	---

	<p>4 受験上の注意事項についての質疑 応答 (注)遅くとも試験開始の2分前には 、この発言をする。</p>	<p>試験問題集の表紙の注意事項を声を出さず に読んでください。注意事項について疑問の ある人は、手を挙げて質問してください。 読み終わりましたら、開始の合図があるま での間、答案用紙に記入した受験番号などが 間違っていないか、よく点検してください。</p>
10:00	<p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁、乱丁等のある試験問題の交 換</p> <p>3 係員は、欠席者の受験番号を事務 室係に連絡する。</p>	<p>始めてください。 (試験問題の内容について、一部訂正があ りますので、正誤表を参照してください。) もし、落丁、乱丁その他印刷のはっきりし ないものがありましたら、交換しますから、 黙ったまま手を挙げてください。</p>
11:15	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま、試験終了時刻の15分前です。こ れからの15分間は、答案の提出を認めませ ん。</p>
11:30	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意</p> <p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者 の氏名等所要事項が記入されている</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて、試験 問題集を閉じてください。 もう一度受験科目、試験地、受験番号、氏 名に記入漏れや、間違いがないかをよく確認 してください。間違いがある場合には、これ から係員が答案を回収しますので、その際に 申し出た上、訂正してください。 答案を係員が回収しますから、着席したま ま静かにお待ちください。 なお、試験問題集(、正誤表)及び草稿 用紙は、持ち帰ってください。 (注)追加で答案用紙を配布したときは、 これに続けて次のことを告げる。 「追加で答案用紙を使用したときは 、回収の際、係員に申し出てください 。」</p>

	<p>かどうかを確認した上、答案を回収する。追加で答案用紙を使用した者の答案は、ステープラーで左側の上部及び中央部の2箇所をとじた上、右側の上部に付箋を貼る。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 2時限に行われる試験についての注意及び退室の指示</p> <p>6 試験官は、回収した答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	<p>次の試験は、12時30分に着席の合図をしますから、遅れないように注意してください。試験開始時刻に遅れると、試験を受けられません。これで政策論文試験を終わります。</p> <p>(予備室)</p> <p>また、午後の試験は、この試験室ではなく、所定の試験室で受験してください。</p>
--	---	--

2 時限 第 2 次試験専門試験（記述式）

時刻	事務内容	発言内容
12:30 まで	<p>事務室で試験問題，正誤表（配布する場合に限る。），答案用紙，試験用六法，草稿用紙，通信機器を入れる封筒，第 1 次試験受験票，実施報告書用紙及び事務用品を受領し，試験室に入る。</p> <p>受領の際，首席試験官から正誤表の有無について告知を受ける。</p>	
12:30	<p>1 受験者の入室完了を確認する。</p> <p>2 通信機器を利用した不正行為防止のための注意                      （注）①～⑤の順に，受験者全員が各発言に従っていることを確認してから次の発言を行う。</p> <p>3 第 1 次試験受験票の写真による</p>	<p>① 携帯電話等の通信機器を持っている人は，全ての通信機器を机の上に出してください。</p> <p>② 机の上の全ての通信機器の電源を切ってください。</p> <p>③ 電源が切れていることの確認ができた人は，全ての通信機器をかばん等の中にしまい，かばん等は，必ず自分の足下に置いてください。</p> <p>④ かばん等を持っていない人は手を挙げてください。                      （挙手した者がいた場合，封筒を交付し，以下のとおり発言する。                      今お渡しした封筒に受験番号及び氏名を記載し，通信機器を入れた上で，係員に預けてください。預かった通信機器はこの時限の試験終了後に返却しますので，係員に申し出て受領してください。途中退出する場合は退出時に返却します。）</p> <p>⑤ 試験時間中，通信機器を，衣類のポケットなど，かばん等の外に携帯していた場合は，その使用の有無にかかわらず，不正行為とみなし，失格者として扱いますので，注意してください。</p>

<p>本人確認を行う。 (注) 確認は試験開始後に始めてもよい。</p> <p>4 試験に関する注意の告知</p>	<p>ただいまから、専門試験についての注意事項をお伝えしますので、聞き漏らしのないようにしてください。</p> <p>机の上には、黒のペン又はボールペン及び時計のほかは、置いてはいけません。下敷きの使用は認めません。</p> <p>六法については、後ほど配布するもののみ使用を認めます。</p> <p>なお、筆記用具については、消しゴムなどでインクを容易に消すことができるものの使用は認めませんので、この試験で使用できる筆記用具を持ち合わせていない人は、ここで係員に申し出てください。</p>
<p>5 棄権及び退室の際の注意</p>	<p>棄権する人は、答案にキケンと大きく書き、黙ったまま手を挙げて係員の指示を受けてください。また、試験終了時刻前に退室したい人も、黙ったまま手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験終了前の15分間は、退室を認めません。退室するときは、試験用六法は係員に返却してください。</p>
<p>6 試験時間の確認</p>	<p>2時限の専門試験の試験時間は、12時45分から14時45分までの2時間です。</p>
<p>7 最終合格者発表の期日の連絡等</p>	<p>この試験で本日の試験は終わりますから、試験終了後、忘れ物のないようお帰りください。</p>
<p>8 氏名、住所等の変更の届出の指示</p>	<p>最終合格発表日は、△月△日(△)です。合格発表に関しては、試験開始前に配布した「受験者の皆さんへ」という書面に記載してありますので、後で参照してください。</p> <p>(注) △は最終合格者発表日を記入する。</p> <p>なお、人物試験は、人物試験受験票に記載された期日に別途実施されます。</p> <p>先日の第1次試験後に氏名、住所等に変更のある人は、試験終了後、試験室を退出する前に係員に届け出てください。</p>



<p>12:35</p>	<p>1 答案用紙，草稿用紙，試験用六法，試験問題及び正誤表（配布する場合に限る。）の配布</p> <p>(1) 試験問題の包みは，配布直前に開封する。</p> <p>(2) 正誤表は裏返しに配布する。</p> <p>(3) 欠席者の席には配布しない。</p> <p>(4) 配布終了後，直ちに配布部数及び残部数の確認をする。</p> <p>2 受験科目名，試験地，受験番号及び氏名の記入の指示</p> <p>3 答案用紙，草稿用紙の追加配布</p> <p>4 選択科目に関する注意</p>	<p>これから答案用紙2枚，草稿用紙2枚，試験用六法，試験問題集1部（，正誤表1部）を配りますが，試験用六法，試験問題集（及び正誤表）は，開始の合図があるまで開いてはいけません。</p> <p>試験問題集（，正誤表）及び草稿用紙は，試験終了後，持ち帰ってください。</p> <p>ただし，途中退室する場合は，係員が答案とともに試験問題集（，正誤表）及び草稿用紙を一旦回収し，●時●分に■で交付します。この時刻に遅れた場合は交付することができませんので，注意してください。</p> <p>なお，棄権により途中退出する場合は，試験問題集（，正誤表）及び草稿用紙の持ち帰りは認めません。</p> <p>配布する試験用六法には，文字や線などの書き込みを絶対にしないでください。</p> <p>（注）●は14時45分以降の適宜の時刻を，■は適宜の交付場所を記入する。</p> <p>それでは，試験問題集の記入例を参考に，各答案用紙に「試験地」，「受験番号」及び「氏名」を記入してください。「試験名」欄には何も記入しないでください。「受験科目」欄は，試験開始後に，解答した科目名を記入してください。答案は各科目ごとに作成してください。また，試験問題集の右上に「受験番号」及び「氏名」を記入してください。</p> <p>なお，答案用紙，草稿用紙が不足したときは，手を挙げて係員に申し出てください。</p> <p>問題は，13科目15題が出題されますので，そのうち2科目各1題を選択して解答してください。</p> <p>ただし，児童福祉論と老人福祉論は同時に選択できません。</p> <p>また，民法又は刑法を選択する場合は，問題が2題ずつありますので，どちらか一方の問題を選択して解答してください。民法のみ</p>
--------------	---	--

	<p>5 受験上の注意事項についての質疑 応答 (注)遅くとも試験開始の2分前には 、この発言をする。</p>	<p>2題又は刑法のみ2題を解答することはできませんので注意してください。 試験問題集の表紙の注意事項を声を出さずに読んでください。注意事項について疑問のある人は、手を挙げて質問してください。 読み終わりましたら、開始の合図があるまでの間、答案用紙に記入した受験番号などが間違っていないか、よく点検してください。</p>
12:45	<p>1 試験開始の宣言</p> <p>2 落丁、乱丁等のある試験問題の交換</p> <p>3 係員は、欠席者の受験番号を事務室係に連絡する。</p> <p>4 途中退出は、写真による本人確認終了後に許可する。</p>	<p>始めてください。 (試験問題の内容について、一部訂正がありますので、正誤表を参照してください。) もし、落丁、乱丁その他印刷のはっきりしないものがありましたら、交換しますから、黙ったまま手を挙げてください。</p>
14:30	<p>答案の提出の停止</p>	<p>ただいま、試験終了時刻の15分前です。これからの15分間は、答案の提出を認めません。</p>
14:45	<p>1 試験終了の宣言</p> <p>2 答案の回収に当たっての注意 答案は科目ごとに回収して差し支えない。</p>	<p>やめてください。筆記用具を置いて、試験問題集を閉じてください。 もう一度受験科目、試験地、受験番号、氏名に記入漏れや、間違いがないかをよく確認してください。間違いがある場合には、これから係員が答案を回収しますので、その際に申し出た上、訂正してください。 答案を、2科目重ねて机の上に置いてください。係員が答案及び試験用六法を回収しますから、着席したまま静かにお待ちください。 なお、試験問題集(、正誤表)及び草稿用紙は、持ち帰ってください。 (注)追加で答案用紙を配布したときは、</p>

	<p>3 係員は、答案の所定の欄に受験者の氏名等所要事項が記入されているかどうかを確認した上、答案を回収する。追加で答案用紙を使用した者の答案は、ステーブラーで左側の上部及び中央部の2箇所をとじた上、右側の上部に付箋を貼る。</p> <p>4 試験官は、回収した答案を点検し、回収部数等に異常のないことを確認する。</p> <p>5 退室等の指示</p> <p>6 試験官は、回収した答案を実施報告書と照合し、無効答案を除外する。</p> <p>7 有効及び無効の別に分類した答案を試験の種類別、科目別及び受験番号順に整理する。</p> <p>8 試験官は、第1次試験受験票を答案の有効及び無効の別、試験の種類別並びに受験番号順に整理し、実施報告書、整理した答案及び未使用試験問題とともに事務室係に引き継ぐ。</p>	<p>これに続けて次のことを告げる。</p> <p>「追加で答案用紙を使用したときは、回収の際、係員に申し出てください。」</p> <p>これで本日の試験を終わります。お疲れさまでした。</p>
--	--	---